SONY

4-259-565-**01** (1)

ショットガンマイクロホン
Shotgun Microphone
Microphone de type shotgun
枪型麦克风

取扱説明書 /Operating Instructions/Mode d'emploi/ Bedienungsanleitung/Manual de instrucciones/ Gebruiksaanwijzing/Bruksanvisning/ Istruzioni per l'uso/Manual de instruções/ 使用说明书

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Auto-lock Accessory Shoe

ECM-CG50

4259565010

http://www.sony.net/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed on 70% or more recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.

日本語

このショットガンマイクロホン（以下マイクロホンとする）は、アルカリ単3電池駆動、プラグインパワー併用マイク入力端子付のソニー製ビデオカメラレコーダー、およびデジタルカメラでお使いいただけます。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。
- **故障したら使わない**
動作がおかしくなったり、コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。
- **万一、異常が起きたら**

変な音・においがしたら、煙が出たら → ①マイクロホンの電源を切る ②カメラから取りはずす ③お買い上げ店またはソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号：火災　感電

行為を禁止する記号：禁止　分解禁止

⚠警告 下記の注意事項を守らないと、**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を入れない
水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り電池をはずして、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。（禁止）

⚠注意 下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の家財に**損害**を与えることがあります。

内部を開けない
感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。（分解禁止）

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない
故障の原因となります。（禁止）

落としたりぶつけたりしない
故障の原因となります。（禁止）

電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告
- **火の中に入れないでください。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。**
- **アルカリ乾電池は充電しないでください。**
- **指定された種類の電池を使用してください。**
- **金属に触れ、⊕、⊖がショートすると発熱、発火する危険があります。**

⚠注意
- **⊕と⊖の向きを正しく入れてください。**
- **電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておいてください。**
- **電池の電極と本機の電池、電池蓋の電池端子部は時々乾いた布などで汚れを拭き取ってください。電極や電池端子部に皮脂などの汚れがあると、動作時間が極端に短くなることがあります。**

もし電池の液が漏れたときは、電池ケース内の漏れた液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

主な特長

- **周囲雑音を拾いにくい鋭指向性**
鋭い指向性を持つ本機をカメラに搭載することで、狭角度・中距離の集音性を向上できます（イラストE参照）。
- **アルカリ単3電池駆動、プラグインパワー併用**
カメラのマイク入力端子と、アルカリ単3電池（以下、乾電池とする）のどちらからでも電源が供給されます。
- **ショックマウントマイクホルダー付属**
マイクロホン装着時のマイクロホンへの振動ノイズを和らげるマイクホルダーが同梱されています。

使用上のご注意

- マイクロホンは敏感です。落としたり、たたいたり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。
- 動画撮影中はカメラやレンズの作動音、操作音などが記録されてしまうことがあります。レンズの作動音が気になる場合は、マニュアルフォーカスでご使用ください。
- 高温多湿のところで長時間使用・保存することは避けてください。
- 屋外使用するときは、雨や海水にぬれないようにしてください。
- 本機は防塵・防滴ではありません。
- 汚れたときは、乾いた布で拭いてください。
- 使用中、「ピー」という音（ハウリング）が発生することがあります。これは、スピーカーから出る音をマイクロホンが拾ってしまうために起こります。これを防ぐには、マイクロホンとスピーカーを向き合わないようにし、その距離をできるだけ離してください。
- カメラに搭載して使用する際は、接続コードを周囲のものに引っ掛けてカメラなどを転倒、落下させないように充分ご注意ください。
- 事前にためし撮りをして、正常に録音できているか確認してください。

各部の名前と使いかた（イラスト A）

* イラストのカメラは、SLT-A55V、NEX-VG10を使用しています。

1 **マイクロホン本体**

① **スライドスイッチ（パワー OFF/NORM（ノーマル）／ LOW CUT（ローカット））**
収音する対象によってスイッチを切り換えてください。

ON		電源が入ります
	NORM	低音域から高音域まで自然な音でとりたいとき
	LOW CUT	低音域を効果的にカットして、風・振動や空調設備による雑音を低減したいとき
OFF		電源が切れます

② **バッテリーチェックランプ**
残量が充分な電池を取り付けている場合、スライドスイッチをOFFからONにすると一瞬光り、電源残量を知らせます。
ご注意
プラグインパワーでカメラから電源をとっている場合は光りません。
光りかたが暗くなったり、光らなかった場合には電池を交換してください。
プラグインパワー対応機種はマイク端子から電源をとって撮影することもできます。

③ **接続コード**
マイクロホンの出力端子とカメラのマイク入力端子を接続します。

④ **グリップ**

2 **マイクホルダー**
マイクロホンを差し込んで使用します。
① **固定ツマミ**
シューアダプターの固定に使用します。

3 **マイクスペーサー**
マイクロホンに取り付けて使用します。

4 **シューアダプター**
ソニー製αカメラで本機をお使いになる場合に使用します。
① **アクセサリーシュー**
② **オートロックフット**
③ **ロック解除ボタン**

5 **ウインドスクリーン**
マイクロホン本体にかぶせ、風や息がマイクロホンに直接当たるときに生じるノイズを低減します。
ご注意
ウインドスクリーンが雨にぬれた場合は、マイクロホン本体からはずし陰干ししてください。

取り付けかた

マイクスペーサーを取り付ける（イラスト B）

グリップの線**a**に沿ってマイクスペーサーを取り付けます。正しい位置に取り付けることで正確に収音できます。

乾電池を取り付ける／取りはずす（イラスト C）

プラグインパワー非対応のカメラをお使いの場合は、必ず新しい乾電池を取り付けてください。プラグインパワー対応機器に接続する場合は電池を取り付ける必要はありません。
プラグインパワーに対応しているかは、お手持ちのカメラの取扱説明書をご覧ください。

ご注意
- 電池は単3形アルカリ乾電池をご使用ください。それ以外（マンガン電池やニッケル水素二次電池など）では正常に動作しないことがあります。マイクロホンの仕様、性能、使用時間等を最大限に発揮するため、ソニー製乾電池のご使用を推奨いたします。
- 大切な撮影の前は新しい乾電池に交換してください。
- 乾電池を取り付け／取りはずす際は、必ず電源がOFFで接続コードがはずれていることを確認してください。

1 **マイクロホンの電源がOFFで接続コードをはずれていることを確認したあと、グリップをまわして矢印の方向へ引く**
グリップはマイクロホン本体から完全にはずれません。強く引っぱらないでください。

2 **乾電池を入れる**
乾電池を入れる際は⊖極を入れた後、⊕極を入れてください。

乾電池をはずすときは、取り付けるときの逆の手順を行ってください。
ご注意
- 乾電池を取りはずす際は、⊕極側を爪でひっかけてはずしてください。

乾電池の交換時期

乾電池が使える状態のときは、スライドスイッチをOFFからONにするとバッテリーチェックランプが一瞬光ります。光りかたが暗くなったり、光らなかったりした場合には乾電池を交換してください。

乾電池についてのご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破裂のおそれがあります。次のことは必ずお守りください。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 乾電池は充電できません。
- 長時間、乾電池を使わないときは、取り出しておいてください。
- 液もれが起こったときは*、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい乾電池を入れてください。（* 液もれが起きると修理が必要です。）

カメラに本機を取り付ける（イラスト D）

1 **カメラの電源を切る**
本機をご使用になる前に、必ずカメラの内蔵フラッシュを閉じてください。また、内蔵フラッシュの自動発光機能があるカメラでは、自動発光機能をOFFにしてください。

2 **マイクホルダーをカメラのシューに取り付ける**
シューアダプターを取り付けると、オートロックアクセサリーシュー搭載のカメラもお使いになれます。お使いのカメラのシューの形にあわせて、使い分けてください。
- **お使いのカメラが、アクセサリーシューの場合（イラストD-2Ⓐ）**
マイクホルダーをカメラのシューの奥まで差しこみ、固定つまみをしっかり回して固定してください。
- **お使いのカメラが、オートロックアクセサリーシューの場合（イラストD-2Ⓑ）**
シューアダプターをカメラのシューの奥まで差し込んで取り付けたあと、マイクホルダーをシューアダプターのシューの奥まで差しこみ、取り付けてください。

3 **マイクホルダーにマイクロホンを取り付ける**
マイクホルダーのバックルをはずしてマイクスペーサーを巻いたところに取り付けます。
マイクロホンのスイッチが上側中央にくるようにしっかり取り付けると正しい指向特性が得られます。

4 **マイクロホンの位置が決まったら、バックルを固定する**

5 **接続コードをカメラのマイク端子にしっかり差しこむ**

6 **あまった接続コードをコードクランパーにはさむ**
コードクランパーにコードをはさむときは、コードをレンズ側に回してください。

本機を使用する

カメラの電源をONにした後、本機のスライドスイッチをONにし、お好みのモードでご使用ください。
ご注意
- **無理な力で固定ツマミを回したり、シューを取り付けたりしないでください。破損の原因となります。**
- **取り付けたマイクロホンまたはマイクホルダーを持ってカメラを持ち上げないでください。**
- 撮影中にモードを切り換えると、ノイズが入ることがあります。

ウインドスクリーンを取り付ける

風音が気になるときは、ウインドスクリーンを取り付けてください。

カメラから本機を取りはずす

本機をカメラから取りはずす際は、カメラへの取り付けかたと逆の手順で取りはずしてください。
シューアダプターを取り付けている場合、シューアダプターはロック解除ボタンを押しながら取りはずしてください。

保証書とアフターサービス

保証書
- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは
ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。
●型名：ECM-CG50
●故障の状態：できるだけ詳しく
●お買い上げ日

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社では本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

主な仕様

形式	エレクトレットコンデンサー型
電源	アルカリ単3電池駆動、プラグインパワー併用
推奨電池	アルカリ単3電池（別売）
消費電力	約0.5 mW
出力端子	ø3.5金メッキL型ステレオミニプラグ　コード長　約35 cm
スイッチ	パワー OFF ／ NORM（ノーマル）／ LOW CUT（ローカット）
連続使用時間	900時間以上（25℃使用時）
外形寸法	約ø21 mm×261 mm（コード除く）
質量	約85 g（電池含まず）
指向特性	鋭指向性
同梱物	ショットガンマイクロホン（1）、ウインドスクリーン（1）、ショックマウントマイクホルダー（1）、マイクスペーサー（1）、シューアダプター（1）、印刷物一式

以下の項目はJIS C-5502-01991　マイクロホン工業規格に準拠して試験したものです。

周波数特性	40 Hz ～ 20 kHz
正面感度	-48 dB/Pa ±4 dB
固定雑音	18 dBspl（平均）
最大入力音圧レベル	約100 dBspl以上
ダイナミックレンジ	80 dB以上
許容動作温度	0 ℃～ 40 ℃
許容保存温度	-20 ℃～ +60 ℃

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

よくあるお問い合わせ、解決方法などは、ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2511
受付時間 月～金：9:00～18:00
土・日・祝日：9:00～17:00

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。
受付時間 月～金：9:00～20:00
土・日・祝日：9:00～17:00

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「400」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

English

This shotgun microphone (referred to below as "microphone") is for use with a Sony video camera recorder and digital still camera with a microphone input jack and plug-in power operation (referred to below as "camera"). This microphone is powered by an alkaline AA dry battery.

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the bottom. Record the serial number in the space provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.
Model No. ECM-CG50 Serial No. ________________

< Notice for the customers in the countries applying EU Directives >
The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

For the Customers in Europe

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in the European Union and other European countries with separate collection systems)
This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local Civic Office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.

Features

- **Sharp directivity microphone with minimum sensitivity to ambient noise**
The microphone's sharp directivity enhances narrow range and middle distance recording when connected to your camera (See illustration E).
- **Powered by a combination of an AA alkaline dry battery and plug-in power operation**
The power is supplied from the microphone input jack of your camera or an AA alkaline dry battery (referred to below as "battery").
- **Shock mount microphone holder supplied**
The supplied microphone holder that reduces the noise from the vibration when you attach the microphone to the camera.

Notes on Use

- The microphone is a delicate device. Do not drop it or subject it to excessive shock.
- During movie recording, operation noises or beeps from the camera or lens may be recorded. You can prevent noise from the lens by using in manual focus mode.
- Avoid extended use or storage in high humidity or at high temperature.
- Do not let the microphone get wet with rain or seawater when using outside.
- The microphone does not have dust-proof or splash-proof specifications.
- Wipe any dirt from the microphone with a dry cloth.
- If acoustic feedback occurs during use (a howling sound is heard from the speakers), point the microphone away from the speakers or increase the distance between the microphone and the speakers.
- Be careful not to drop or tip your camera over by catching the connecting cord on a nearby object when attaching the microphone.
- Test record with this microphone to make sure that sound is recorded properly beforehand.

Names and Functions of Parts (See illustration A)

* The camera illustrated here is the SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Microphone body**

① **Slide switch (Power OFF/NORM (Normal)/LOW CUT (Low-cut))**
Set the switch according to the sound source.

ON		The power turns on.
	NORM	To pick up sound naturally from low-tone range to high-tone range.
	LOW CUT	To cut low-tone range effectively to reduce noise from wind, vibration or air conditioning.
OFF		The power turns off.

② **Battery check lamp**
If the battery has enough power, when the slide switch is switched from OFF to ON, the battery check lamp flashes momentarily to indicate the remaining battery level.
Notes
When the power is supplied by the plug-in power, the battery check lamp does not flash.
When the battery check lamp flashes dimly or does not flash at all, replace the battery with a new one.
Plug-in power compatible models can be powered with the microphone input jack.

③ **Connecting cord**
Connect the output jack of the microphone to the microphone input jack of your camera.

④ **Grip**

2 **Microphone holder**
Insert the microphone to attach to the camera.
① **Lock knob**
Use the lock knob to fix the shoe adaptor.

3 **Microphone spacer**
Attach to the microphone to attach it to the microphone holder.

4 **Shoe adaptor**
Use the shoe adaptor when using the microphone with a Sony α camera.
① **Accessory shoe**
② **Auto-lock foot**
③ **Lock release button**

5 **Wind screen**
Place on the microphone to reduce the popping noise caused by wind or breathing.
Notes
If the wind screen gets wet with rain, remove from the microphone and dry in shade.

Attaching the microphone

Attaching the microphone spacer to the microphone (See illustration B)

Attach the microphone spacer along the line on the grip of the microphone (**a**).
Attach the microphone spacer at the correct position on the grip to catch the sound properly.

Inserting/Removing the battery (See illustration C)

When using a camera that is not compatible with the plug-in power, be sure to insert a new battery. When using a camera that is compatible with the plug-in power, you do not need to insert a battery in the microphone.
For how to check whether your camera is compatible with the plug-in power, refer to the instruction manual of your camera.

Notes
- Use an size AA alkaline dry battery. If you use another battery (manganese dioxide battery, Ni-MH rechargeable battery etc.), the microphone may not operate correctly. We recommend using a Sony battery to maximize the microphone's specifications, performance and operating time etc.
- Before an important recording, replace the battery with a new one.
- Be sure to set the power of the microphone to OFF and disconnect the connecting cord before attaching or removing the battery.

1 **Check that the connecting cord is disconnected. Then rotate the grip and pull it as illustrated.**
The grip cannot be fully separated from the microphone body. Do not pull it by force.

2 **Insert the battery.**
When inserting the battery, insert its ⊖ side first, and then insert its ⊕ side.

Remove the battery by the reverse procedure.
Notes
- To remove the battery from the microphone, catch the ⊕ side of the battery with your nail.

Battery replacement period

If the battery has enough power, switching the slide switch from OFF to ON causes the battery check lamp to flash momentarily to indicate the remaining battery level. If the battery check lamp flashes dimly or does not flash at all, replace the battery with a new one.

Notes on battery

Mishandling of the battery may cause it to leak or rupture. Always observe the following.
- Install the battery with the correct ⊕ and ⊖ orientation.
- Do not attempt to recharge the battery. It is not rechargeable.
- Remove the battery if the microphone is not to be used for a long period of time.
- If the battery leaks*, carefully wipe away any electrolyte from the battery compartment and then install a new battery. (If the battery leaks, you need to repair the microphone.)

Attaching the microphone to the camera (See illustration D)

1 **Turn off the power of the camera.**
Before using the microphone, be sure to close the built-in flash of the camera. When using the microphone with a camera that has a built-in flash with auto flash function, set the auto flash function to OFF.

2 **Attach the microphone holder to the shoe of the camera.**
If you attach the shoe adaptor to the microphone holder, it can be attached to a camera that has an Auto-lock Accessory Shoe. Use the shoe adaptor as necessary depending on the shape of the shoe on your camera.
- **When using the camera with an accessory shoe (See illustration D-2Ⓐ)**
Slide the microphone holder fully onto the accessory shoe of the camera and rotate the lock knob fully to fix it.
- **When using the camera with an Auto-lock Accessory Shoe (See illustration D-2Ⓑ)**
Slide the shoe adaptor fully onto the Auto-lock Accessory Shoe of the camera. Then slide the microphone holder fully onto the shoe adaptor and rotate the lock knob to fix it.

3 **Attach the microphone to the microphone holder.**
Release the buckle of the microphone holder and attach the microphone. Fit the microphone spacer attached to the microphone onto the microphone holder. Attach the microphone with its power/low-cut switch facing upwards to obtain the correct pickup pattern.

4 **Decide the position of the microphone and lock the buckle of the microphone holder.**

5 **Connect the connecting cord to the microphone input jack of the camera.**

6 **Fit the extra connecting cord into the cord clamp.**
When fitting the connecting cord into the cord clamp, put the cord round the lens side.

Using the microphone

After turning on the power of the camera, set the slide switch of the microphone to ON and use it in the desired mode.
Notes
- **Do not use force to rotate the lock knob or attach the shoe. Doing so may cause damage.**
- **Do not hold the camera by the microphone or microphone holder attached to the camera.**
- If you switch the mode during recording, noise may be recorded.

Attaching the wind screen

Attach the wind screen to prevent the sound of wind being recorded as noise.

Removing the microphone from the camera

Remove the microphone from the camera by following the attaching procedure in reverse.
If the shoe adaptor is attached to the camera, slide the shoe adaptor while pressing the lock release button on it.

Specifications

Type	Electret condenser microphone
Power supply	Combination of AA alkaline dry battery and plug-in power
Recommended battery	Size AA alkaline dry battery (sold separately)
Power consumption	Approx. 0.5 mW
Output jack	ø 3.5 gold coating L type stereo mini plug cable length Approx. 35 cm (13 7/8 in.)
Switch	Power OFF / NORM (Normal) / LOW CUT (Low-cut)
Continuous operating time	900 hours or more (Using at 25 °C (77 °F))
Dimensions	Approx. ø 21 mm × 261 mm (ø 27/32 in. × 10 3/8 in.) (excluding cord)
Mass	Approx. 85 g (3 oz.) (excluding battery)
Directivity	Sharp directivity
Included items	Shotgun microphone (1), Wind screen (1), Shock Mount Microphone Holder (1), Microphone spacer (1), Shoe adaptor (1), Set of printed documentation
Frequency response	40 Hz ~ 20 kHz
Sensitivity	-48 dB/Pa ±4 dB
Signal-to-noise ratio	18 dBspl (Average)
Maximum input sound pressure level	100 dBspl or more
Dynamic range	80 dB or more
Operating temperature	0 °C to 40 °C (32 °F to 104 °F)
Storage temperature	-20 °C to +60 °C (-4 °F to +140 °F)

Design and specifications are subject to change without notice.

Français

Ce microphone de type shotgun (appelé ci-dessous le « microphone ») est destiné aux caméscopes et appareils photo numériques Sony (appelés ci-dessous la « caméra ») pourvus d'une prise d'entrée de microphone et à alimentation PIP (Plug-in-Power). Ce microphone est alimenté par une pile sèche alcaline AA.

Aide-mémoire

Les numéros de modèle et de série se situent sous l'appareil. Prendre en note le numéro de série dans l'espace prévu ci-dessous. Se reporter à ces numéros lors des communications avec le détaillant Sony au sujet de ce produit.
Modèle no ECM-CG50 No de série ________________

< Avis aux consommateurs des pays appliquant les Directives UE >
Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japon. Le représentant agréé pour la compatibilité électromagnétique et la sécurité du produit est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question relative à la garantie ou aux réparations, reportez-vous à l'adresse que vous trouverez dans les documents ci-joints, relatifs à la garantie et aux réparations.

Pour les clients en Europe

Traitement des appareils électriques et électroniques en fin de vie (Applicable dans les pays de l'Union Européenne et aux autres pays européens disposant de systèmes de collecte sélective)
Ce symbole, apposé sur le produit ou sur son emballage, indique que ce produit ne doit pas être traité avec les déchets ménagers. Il doit être remis à un point de collecte approprié pour le recyclage des équipements électriques et électroniques. En s'assurant que ce produit est bien mis au rebut de manière appropriée, vous aiderez à prévenir les conséquences négatives potentielles pour l'environnement et la santé humaine. Le recyclage des matériaux aidera à préserver les ressources naturelles.
Pour toute information supplémentaire au sujet du recyclage de ce produit, vous pouvez contacter votre municipalité, votre déchetterie ou le magasin où vous avez acheté le produit.

Caractéristiques

- **Microphone à directivité précise peu sensible au bruit ambiant**
La directivité précise de ce microphone permet des enregistrements du son de meilleure qualité à angle aigu et à distance moyenne lorsque le microphone est raccordé à votre caméra (Voir l'illustration E).
- **Alimentation par une pile sèche alcaline AA et alimentation PIP**
L'alimentation est fournie par la prise d'entrée microphone de votre caméra ou par une pile sèche alcaline AA (appelée ci-dessous la « pile »).
- **Support de microphone antivibration fourni**
Le support de microphone fourni réduit le bruit dû aux vibrations lorsque le microphone est rattaché à la caméra.

Remarques sur l'emploi

- Le microphone est un appareil délicat. Ne le laissez pas tomber et ne le soumettez pas à des chocs.
- Pendant la prise de vue, les bruits de fonctionnement ou les bips de l'appareil photo ou de l'objectif peuvent être enregistrés. Le bruit de l'objectif peut être évité en utilisant le mode de mise au point manuelle.
- Évitez de l'utiliser ou de l'exposer trop longtemps à une humidité ou une température élevée.
- Veillez à ce qu'il ne soit pas mouillé par la pluie ou l'eau de mer lorsqu'il est utilisé à l'extérieur.
- Le microphone n'est pas étanche à la poussière ou aux projections d'eau.
- Nettoyez le microphone avec un chiffon sec lorsqu'il est sale.
- Si de la rétroaction acoustique se produit pendant l'enregistrement (hurlement provenant des enceintes), écartez le microphone des enceintes ou augmentez la distance entre le microphone et les enceintes.
- Veillez à ne pas faire tomber ou renverser la caméra en accrochant le cordon de liaison à un autre objet proche lorsque vous raccordez le microphone.
- Faites des essais avec le microphone pour vous assurer que le son est enregistré correctement.

Noms et fonctions des éléments (Voir l'illustration A)

* La caméra illustrée ici est la SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Corps du microphone**

① **Commutateur (Alimentation OFF/NORM (Normal)/LOW CUT (Coupure du grave))**
Réglez le commutateur selon la source sonore.

ON		Le microphone est allumé.
	NORM	Prise de son naturelle du grave à l'aigu.
	LOW CUT	Coupure du grave efficace pour réduire le bruit du vent, des vibrations, d'un climatiseur, etc.
OFF		Microphone hors service.

② **Témoin de contrôle de la pile**
Si la pile est suffisamment chargée lorsque la position du commutateur est changée de OFF sur ON, le témoin de contrôle de la pile clignote momentanément pour indiquer le niveau de charge restant.
Remarques
Lorsque l'alimentation est fournie par la prise de microphone, le témoin de contrôle de la pile ne clignote pas.
Quand le témoin de contrôle de la pile clignote faiblement ou ne clignote pas du tout, remplacez la pile par une neuve.
Les modèles à alimentation PIP peuvent être alimentés par la prise d'entrée microphone.

③ **Cordon de liaison**
Reliez la prise de sortie du microphone à la prise d'entrée microphone de votre caméra.

④ **Poignée**

2 **Support de microphone**
Insérez le microphone ici pour le fixer à la caméra.
① **Bouton de blocage**
Utilisez le bouton de blocage pour fixer l'adaptateur de griffe.

3 **Entretoise de microphone**
Rattachez-la au microphone avant de mettre le microphone dans le support de microphone.

4 **Adaptateur de griffe**
Utilisez l'adaptateur de griffe lorsque vous utilisez le microphone avec une caméra Sony α.
① **Griffe porte-accessoire**
② **Pied à verrouillage automatique**
③ **Bouton de déblocage**

5 **Bonnette antivent**
Posez-la sur le microphone pour réduire le bruit de souffle causé par le vent ou la respiration.
Remarques
Si la bonnette antivent devait être mouillée par la pluie, retirez-la du microphone et laissez-la sécher à l'ombre.

Fixation du microphone

Rattachement de l'entretoise de microphone au microphone. (Voir l'illustration B)

Rattachez l'entretoise de microphone au niveau de la ligne sur la poignée du microphone (**a**).
Mettez l'entretoise à la bonne position sur la poignée pour que le son soit capté correctement.

Mise en place et retrait de la pile (Voir l'illustration C)

Lorsque vous utilisez une caméra sans alimentation PIP, insérez une pile neuve. Lorsque vous utilisez une caméra avec alimentation PIP, vous n'avez pas besoin d'insérer de pile dans le microphone.
Reportez-vous au mode d'emploi de votre caméra pour savoir si elle présente ce type d'alimentation ou non.

Remarques
- Utilisez une pile sèche alcaline AA. Si vous utilisez un autre type de pile (pile au dioxyde de manganèse, pile rechargeable Ni-MH, etc.) le microphone ne fonctionnera pas correctement. Il est conseillé d'utiliser une pile Sony pour tirer le meilleur parti des caractéristiques techniques, des performances et de l'autonomie du microphone.
- Avant un enregistrement important, remplacez la pile par une neuve.
- Veillez à régler l'alimentation du microphone sur OFF et à débrancher le cordon de liaison avant d'insérer ou de retirer la pile.

1 **Assurez-vous que le cordon de liaison est débranché. Tournez ensuite la poignée et tirez-la de la façon illustrée.**
La poignée ne peut pas être détachée du corps du microphone. Ne tirez pas dessus en forçant.

2 **Insérez la pile.**
Lorsque vous insérez la pile, insérez d'abord le côté ⊖ puis le côté ⊕.

Retirez la pile en procédant à l'inverse.
Remarques
- Pour retirer la pile du microphone, saisissez le côté ⊕ de la pile avec l'ongle.

Quand remplacer la pile

Si la pile est suffisamment chargée, le témoin de contrôle de la pile clignote momentanément pour indiquer le niveau de charge restant lorsque la position du commutateur est changée de OFF à ON. Si le témoin de contrôle de la pile clignote faiblement ou ne clignote pas du tout, remplacez la pile par une neuve.

Remarques sur la pile

La pile risque de fuir ou d'éclater si elle n'est pas manipulée correctement. Prenez toujours les précautions suivantes.
- Installez la pile dans le bon sens ⊕ et ⊖.
- N'essayez pas de recharger la pile. Elle n'est pas rechargeable.
- Retirez la pile si le microphone ne doit pas être utilisé pendant un certain temps.
- Si la pile devait fuir*, essuyez soigneusement toute l'électrolyte dans le logement de pile et installez une nouvelle pile. (Si la pile fuit, le microphone devra être réparé.)

Fixation du microphone à la caméra (Voir l'illustration D)

1 **Éteignez la caméra.**
Avant d'utiliser le microphone, veillez à fermer le flash intégré de la caméra. Si le microphone est utilisé avec une caméra pourvue d'un flash intégré avec fonction de flash automatique, réglez la fonction de flash automatique sur OFF.

2 **Rattachez le support de microphone à la griffe de la caméra.**
Si vous rattachez l'adaptateur de griffe au support de microphone, le microphone pourra être fixé à une caméra pourvue d'une griffe porte-accessoire à verrouillage automatique. Utilisez l'adaptateur de griffe si la forme de la griffe de votre caméra l'exige.
- **Lorsqu'une caméra avec griffe porte-accessoire est utilisée (Voir l'illustration D-2Ⓐ)**
Insérez le support de microphone à fond dans la griffe porte-accessoire de la caméra et tournez le bouton de blocage à fond pour immobiliser le support.
- **Lorsqu'une caméra avec griffe porte-accessoire à verrouillage automatique est utilisée (Voir l' illustration D-2Ⓑ)**
Insérez l'adaptateur de griffe à fond dans la griffe porte-accessoire à verrouillage automatique de la caméra. Puis insérez le support de microphone à fond dans l'adaptateur de griffe et tournez le bouton de blocage à fond pour immobiliser le support.

3 **Rattachez le microphone au support de microphone.**
Ouvrez la boucle du support de microphone et fixez le microphone. Placez l'entretoise de microphone rattachée au microphone dans le support de microphone.
Fixez le microphone avec son commutateur d'alimentation/coupure du grave orienté vers le haut pour que le son soit capté correctement.

4 **Réglez la position du microphone et fermez la boucle du support de microphone.**

5 **Raccordez le cordon de liaison à la prise d'entrée microphone de la caméra.**

6 **Insérez le cordon de liaison dans la pince de cordon s'il est trop long.**
Lorsque vous insérez le cordon de liaison dans la pince de cordon, faites-le passer par l'avant, côté objectif.

Utilisation du microphone

Après avoir allumé la caméra, réglez le commutateur du microphone sur ON et sélectionnez le mode souhaité.
Remarques
- **Ne forcez pas lorsque vous tournez le bouton de blocage ou rattachez la griffe. Ceci peut causer des dommages.**
- **Ne tenez pas la caméra par le microphone ou le support de microphone rattaché à la caméra.**
- Si vous changez de mode pendant la prise de vue, du bruit peut être enregistré.

Fixation de la bonnette antivent

Fixez la bonnette antivent pour éviter d'enregistrer le bruit du vent.

Retrait du microphone de la caméra

Retirez le microphone de la caméra en procédant à l'inverse de la pose.
Si l'adaptateur de griffe est rattaché à la caméra, détachez-le tout en appuyant sur son bouton de déblocage.

Spécifications

Type	Microphone électrostatique
Alimentation	Pile sèche alcaline AA et alimentation PIP (Plug-in-Power)
Pile recommandée	Pile sèche alcaline taille AA (vendue séparément)
Consommation	Environ 0,5 mW
Prise de sortie	Minifiche stéréo en L plaqué or ø 3,5 Longueur du câble environ 35 cm (13 7/8 po.)
Commutateur	Alimentation OFF/NORM (Normal)/ LOW CUT (Coupure du grave)
Autonomie en fonctionnement continu	900 heures ou plus (à 25 °C (77 °F))
Dimensions	Environ ø 21 mm × 261 mm (ø 27/32 po. × 10 3/8 po.) (sans le cordon)
Poids	Environ 85 g (3 oz) (sans la pile)
Directivité	Directivité prononcée
Articles inclus	Microphone de type shotgun (1), Bonnette antivent (1), Support de microphone anti-vibration (1), Entretoise de microphone (1), Adaptateur de griffe (1), Jeu de documents imprimés
Réponse en fréquence	40 Hz ~ 20 kHz
Sensibilité	-48 dB/Pa ±4 dB
Rapport signal sur bruit	18 dBspl (Moyenne)
Niveau de pression acoustique maximale à l'entrée	100 dBspl ou plus
Plage dynamique	80 dB ou plus
Température de fonctionnement	0 °C à 40 °C (32 °F à 104 °F)
Température d'entreposage	-20 °C à +60 °C (-4 °F à +140 °F)

La conception et les spécifications peuvent être modifiées sans préavis.

Deutsch

Dieses Richtrohr-Mikrofon (im Folgenden als „Mikrofon" bezeichnet) ist zur Verwendung mit einem Sony Camcorder und einer Digital-Standbildkamera mit Mikrofon-Eingangsbuchse und Einsteck-Stromversorgungsbetrieb (im Folgenden als „Kamera" bezeichnet) gedacht. Das Mikrofon wird über eine Alkali-Trockenbatterie im Format AA (R6, Mignonzelle) mit Strom versorgt.

< Hinweis für Kunden in Ländern, in denen EU-Richtlinien gelten >
Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075, Japan. Autorisierter Vertreter für EMV und Produktsicherheit ist die Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Für Fragen im Zusammenhang mit Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantieunterlagen genannten Adressen.

Für Kunden in Europa

Entsorgung von gebrauchten elektrischen und elektronischen Geräten (anzuwenden in den Ländern der Europäischen Union und anderen europäischen Ländern mit einem separaten Sammelsystem für diese Geräte)
Das Symbol auf dem Produkt oder seiner Verpackung weist darauf hin, dass dieses Produkt nicht als normaler Haushaltsabfall zu behandeln ist, sondern an einer Annahmestelle für das Recycling von elektrischen und elektronischen Geräten abgegeben werden muss. Durch Ihren Beitrag zum korrekten Entsorgen dieses Produkts schützen Sie die Umwelt und die Gesundheit Ihrer Mitmenschen. Umwelt und Gesundheit werden durch falsches Entsorgen gefährdet. Materialrecycling hilft, den Verbrauch von Rohstoffen zu verringern. Weitere Informationen über das Recycling dieses Produkts erhalten Sie von Ihrer Gemeinde, den kommunalen Entsorgungsbetrieben oder dem Geschäft, in dem Sie das Produkt gekauft haben.

Merkmale

- **Mikrofon mit scharfer Richtcharakteristik und minimaler Empfindlichkeit gegen Umgebungsgeräusche**
Die scharfe Richtcharakteristik des Mikrofons verbessert die Aufnahme in einem engen Bereich und mittleren Abstand bei Anschluss an Ihre Kamera (siehe Abbildung E).
- **Stromversorgung über eine Kombination einer Alkali-Trockenbatterie im Format AA (R6, Mignonzelle) und Einsteckstromversorgung**
Der Strom wird über die Mikrofon-Eingangsbuchse Ihrer Kamera oder eine Alkali-Trockenzelle (AA, R6) zugeführt (im Folgenden als „Batterie" bezeichnet.)
- **Mikrofonhalter mit elastischer Aufhängung mitgeliefert**
Der mitgelieferte Mikrofonhalter verringert Störgeräusche durch Vibration, wenn Sie das Mikrofon an der Kamera anbringen.

Hinweise zur Verwendung

- Das Mikrofon ist ein empfindliches Gerät. Lassen Sie es nicht fallen und schützen Sie es vor extremen Erschütterungen.
- Bei Filmaufnahme können Betriebsgeräusche der Kamera oder des Objektivs ebenfalls aufgenommen werden. Sie können Geräusche vom Objektiv verhindern, indem Sie im manuellen Modus fokussieren.
- Vermeiden Sie längeren Betrieb oder Lagerung bei hoher Luftfeuchtigkeit oder hohen Temperaturen.
- Lassen Sie das Mikrofon bei Verwendung im Freien nicht mit Regen oder Meerwasser nass werden.
- Das Mikrofon ist nicht staubdicht oder spritzfest konstruiert.
- Wischen Sie Verschmutzungen vom Mikrofon mit einem trockenen Tuch ab.
- Wenn akustische Rückkopplung beim Gebrauch auftritt (ein Heulgeräusch kommt von den Lautsprechern), richten Sie das Mikrofon von den Lautsprechern weg oder vergrößern Sie den Abstand zwischen dem Mikrofon und den Lautsprechern.
- Achten Sie darauf, nicht die Kamera fallen oder umkippen zu lassen, indem Sie sich beim Anbringen des Mikrofons im Mikrofonkabel oder Gegenständen in der Nähe verfangen.
- Machen Sie zuerst eine Probeaufnahme mit diesem Mikrofon, um sicherzustellen, dass Ton richtig aufgenommen wird.

Namen und Funktionen der Teile (Siehe Abbildung A)

* Die hier abgebildete Kamera ist die SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Mikrofonkörper**

① **Schiebeschalter (Strom OFF/NORM (Normal)/LOW CUT (Trittschall))**
Stellen Sie den Schalter entsprechend der Tonquelle ein.

ON		Das Gerät wird eingeschaltet.
	NORM	Zum natürlichen Aufnehmen von Ton, vom Tiefenfrequenzbereich bis zum Hochfrequenzbeeich.
	LOW CUT	Zum wirksamen Entfernen tiefer Frequenzen (Trittschall), um Störgeräusche von durch z.B. Wind, Vibrationen oder Klimaanlagen zu verringern.
OFF		Das Gerät wird ausgeschaltet.

② **Batterieprüflämpchen**
Wenn die Batterie ausreichende Stärke hat, blinkt wenn der Schiebeschalter von OFF auf ON gestellt wird, blinkt das Batterieprüflämpchen kurz, um die restliche Batteriestärke anzuzeigen.
Hinweise
Wenn Strom über die Einsteck-Stromversorgung zugeführt wird, blinkt das Batterieprüflämpchen nicht.
Wenn das Batterieprüflämpchen schwach oder überhaupt nicht blinkt, ersetzen Sie die Batterie durch eine neue.
Modelle mit Einsteck-Stromversorgung können über die Mikrofon-Eingangsbuchse mit Strom versorgt werden.

③ **Anschlusskabel**
Verbinden Sie die Ausgangsbuchse des Mikrofons mit der Mikrofoneingangsbuchse Ihrer Kamera.

④ **Griff**

2 **Mikrofonhalter**
Führen Sie das Mikrofon zum Anbringen an die Kamera ein.
① **Verriegelungsknopf**
Verwenden Sie den Verriegelungsknopf zum Befestigen des Schuhadapters.

3 **Mikrofon-Abstandsstück**
Bringen Sie dies am Mikrofon an, um es am Mikrofonhalter anzubringen.

4 **Schuhadapter**
Verwenden Sie den Schuhadapter bei Verwendung eines Mikrofons mit einer Sony α Kamera.
① **Zubehörschuh**
② **Selbstarretierender Fuß**
③ **Freigabeknopf**

5 **Windschutz**
Dieses Teil kann am Mikrofon angebracht werden, um Knistergeräusche durch Wind oder Atem zu verringern.
Hinweise
Wenn der Windschutz durch Regen nass wird, nehmen Sie ihn vom Mikrofon ab und lassen Sie ihn o, Schatten trocknen.

Anbringen des Mikrofons

Anbringen des Mikrofon-Abstandsstücks am Mikrofon (Siehe Abbildung B)

Bringen Sie das Mikrofon-Abstandsstücks entlang der Linie am Griff des Mikrofons (**a**) an.
Bringen Sie das Mikrofon-Abstandsstücks in der richtigen Position am Griff an, um den Ton richtig einzufangen.

Einsetzen/Entnehmen der Batterie (Siehe Abbildung C)

Bei Verwendung einer Kamera, die nicht mit Einsteck-Stromversorgung kompatibel ist, setzen Sie immer eine neue Batterie ein. Bei Verwendung einer Kamera, die mit Einsteck-Stromversorgung kompatibel ist, brauchen Sie nicht eine Batterie im Mikrofon einzusetzen.
Anweisungen zum Prüfen, ob Ihre Kamera mit Einsteck-Stromversorgung kompatibel ist, finden Sie in der Gebrauchsanleitung Ihrer Kamera.

Hinweise
- Verwenden Sie eine Alkali-Trockenbatterie im Format AA (R03, Mignon). Wenn Sie eine andere Batterie verwenden (Mangandioxid-Batterie, Ni-MH-Akku usw.) kann das Mikrofon möglicherweise nicht richtig funktionieren. Wir empfehlen die Verwendung einer Sony-Batterie, um die technischen Daten wie Leistung, Betriebszeit usw. voll auszunutzen.
- Ersetzen Sie vor einer wichtigen Aufnahme die Batterie durch eine neue.
- Schalten Sie die Stromversorgung des Mikrofons immer auf OFF und trennen das Anschlusskabel ab, bevor Sie die Batterie einsetzen oder entfernen.

1 **Prüfen Sie, ob das Anschlusskabel abgetrennt ist. Drehen Sie dann den Griff und ziehen ihn, wie in der Abbildung gezeigt.**
Der Griff kann nicht vollständig vom Mikrofonkörper getrennt werden. Ziehen Sie ihn nicht gewaltsam.

2 **Setzen Sie die Batterie ein.**
Setzen Sie beim Einsetze der Batterie zuerst die Minusseite ⊖ und dann die Plusseite ⊕ ein.

Entfernen Sie die Batterie mit den gleichen Schritten in umgekehrter Reihenfolge.

Hinweise
- Zum Entfernen der Batterie vom Mikrofon fassen Sie die Plusseite ⊕ der Batterie mit Ihrem Fingernagel.

Batteriewechselzeitraum

Wenn die Batterie ausreichende Stärke hat, bewirkt ein Umstellen des Schiebeschalters von OFF auf ON, dass das Batterieprüflämpchen kurz blinkt, um die restliche Batteriestärke anzuzeigen. Falls das Batterieprüflämpchen schwach oder überhaupt nicht blinkt, ersetzen Sie die Batterie durch eine neue.

Hinweise zur Batterie

Falsche Behandlung der Batterie kann bewirken, dass diese leck wird oder birst. Beachten Sie immer Folgendes.
- Setzen Sie die Batterie mit richtiger Ausrichtung der Markierungen ⊕ und ⊖ ein.
- Versuchen Sie nicht, die Batterie aufzuladen. Sie ist nicht aufladbar.
- Entnehmen Sie die Batterie, wenn das Mikrofon längere Zeit nicht verwendet werden soll.
- Wenn die Batterie leck wird*, wischen Sie jeglichen austretenden Elektrolyt aus dem Batteriefach ab und setzen dann eine neue Batterie ein. (Wenn die Batterie leck wird, müssen Sie das Mikrofon reparieren.)

Anbringen des Mikrofons an der Kamera (Siehe Abbildung D)

1 **Schalten Sie die Stromversorgung der Kamera aus.**
Vor der Verwendung des Mikrofons schließen Sie immer den eingebauten Blitz der Kamera. Bei Verwendung des Mikrofons mit einer Kamera, die einen eingebauten Blitz mit Automatikblitzfunktion hat, stellen Sie die Automatikblitzfunktion auf OFF.

2 **Bringen Sie den Mikrofonhalter am Schuh der Kamera an.**
Wenn Sie den Schuhadapter am Mikrofonhalter anbringen, kann dieser an einer Kamera angebracht werden, die einen selbstarretierenden Zubehörschuh hat. Verwenden Sie den Schuhadapter nach Bedarf, je nach Form des Schuhs an Ihrer Kamera.
- **Bei Verwendung einer Kamera mit Zubehörschuh (Siehe Abbildung D-2Ⓐ)**
Schieben Sie den Mikrofonhalter vollständig auf den Zubehörschuh der Kamera und drehen den Verriegelungsknopf vollständig zum Befestigen.
- **Bei Verwendung der Kamera mit selbstarretierendem Zubehörschuh (Siehe Abbildung D-2Ⓑ)**
Schieben Sie den Schuhadapter vollständig auf den selbstarretierenden Zubehörschuh der Kamera. Schieben Sie dann den Mikrofonhalter voll auf den Schuhadapter und drehen Sie den Verriegelungsknopf fest zum Befestigen.

3 **Bringen Sie das Mikrofon am Mikrofonhalter an.**
Lösen Sie die Schnalle des Mikrofonhalters und bringen Sie das Mikrofon an. Setzen Sie das Mikrofon-Abstandsstück am Mikrofon auf den Mikrofonhalter. Bringen Sie das Mikrofon mit seinem Strom/Trittschall-Schalter nach oben weisend an, um das richtige Aufnahmemuster zu erhalten.

4 **Entscheiden Sie die Position des Mikrofons und verriegeln Sie die Schnalle am Mikrofonhalter.**

5 **Schließen Sie das Anschlusskabel an der Mikrofon-Eingangsbuchse der Kamera an.**

6 **Setzen Sie das zusätzliche Anschlusskabel in die Kabelklemme.**
Beim Einsetzen des Anschlusskabels in die Kabelklemme verlegen Sie das Kabel um die Objektivseite.

Verwendung des Mikrofons

Nachdem Sie die Kamera eingeschaltet haben, stellen Sie den Schiebeschalter des Mikrofons auf ON und verwenden des im gewünschten Modus.
Hinweise
- **Wenden Sie beim Drehen des Verriegelungsknopfes oder Anbringen des Schuhs keine Gewalt an. Dadurch könnten Beschädigungen verursacht werden.**
- **Halten Sie die Kamera nicht am an die Kamera angebrachten Mikrofon oder Mikrofonhalter.**
- Wenn Sie den Modus während der Aufnahme umschalten, kann ein Berührungsgeräusch aufgenommen werden.

Anbringen des Windschutzes

Bringen Sie den Windschutz an, um zu verhindern, dass Windgeräusche aufgenommen werden.

Abnehmen des Mikrofons von der Kamera

Nehmen Sie das Mikrofon von der Kamera ab, indem Sie die Schritte zum Anbringen in umgekehrter Reihenfolge ausführen.
Wenn der Schuhadapter an der Kamera angebracht ist, schieben Sie den Schuhadapter, während Sie gleichzeitig den Freigabeknopf gedrückt halten.

Technische Daten

Typ	Elektret-Kondensatormikrofon
Stromversorgung	Kombination von Alkali-Trockenbatterie im Format AA (R6, Mignonzelle) und Einsteckstromversorgung
Empfohlene Batterie	Alkali-Trockenbatterie im Format AA (R03, Mignon) (getrennt erhältlich)
Leistungsaufnahme	Ca. 0,5 mW
Ausgangsbuchse	ø 3,5 goldbeschichteter L-Typ-Stereo-Ministecker Kabellänge Ca. 35 cm
Schalter	Strom OFF/NORM (Normal)/LOW CUT (Trittschall)
Dauerbetriebszeit	900 Stunden oder mehr (Betrieb bei 25 °C)
Abmessungen	Ca. ø 21 mm × 261 mm (ohne Kabel)
Gewicht	Ca. 85 g (ohne Batterie)
Richtcharakteristik	Scharfe Richtcharakteristik
Mitgeliefertes Zubehör	Richtrohr-Mikrofon (1), Windschutz (1), Mikrofonhalter mit elastischer Aufhängung (1), Mikrofon-Abstandsstück (1), Schuhadapter (1), Anleitungen
Frequenzgang	40 Hz ~ 20 kHz
Empfindlichkeit	-48 dB/Pa ±4 dB
Signal-/Rauschabstand	18 dBspl (Durchschnitt)
Maximaler Eingangsschalldruckpegel	100 dBspl oder mehr
Dynamikumfang	80 dB oder mehr
Betriebstemperatur	0 °C bis 40 °C
Lagertemperatur	-20 °C bis +60 °C

Änderungen bei Design und technischen Daten bleiben ohne vorherige Ankündigung vorbehalten.

Español

Este micrófono de cañón (a partir de ahora "micrófono") es para utilizarse con una videocámara y una cámara fotográfica Sony con toma de entrada para micrófono y operación de alimentación a través de la clavija (a partir de ahora "cámara"). Este micrófono se alimenta con una pila alcalina AA.

< Aviso para los clientes de países en los que se aplican las directivas de la UE >
El fabricante de este producto es Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075, Japón. El representante autorizado en lo referente al cumplimiento de la directiva EMC y a la seguridad de los productos es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para resolver cualquier asunto relacionado con el soporte técnico o la garantía, consulte las direcciones que se indican en los documentos de soporte técnico y garantía suministrados por separado.

Para los clientes en Europa

Tratamiento de los equipos eléctricos y electrónicos al final de su vida útil (aplicable en la Unión Europea y en países europeos con sistemas de recogida selectiva de residuos)
Este símbolo en el equipo o el embalaje indica que el presente producto no puede ser tratado como residuos domésticos normales, sino que debe entregarse en el correspondiente punto de recogida de equipos eléctricos y electrónicos. Al asegurarse de que este producto se desecha correctamente, Ud. ayuda a prevenir las consecuencias negativas para el medio ambiente y la salud humana que podrían derivarse de la incorrecta manipulación en el momento de deshacerse de este producto. El reciclaje de materiales ayuda a conservar los recursos naturales. Para recibir información detallada sobre el reciclaje de este producto, póngase en contacto con el ayuntamiento, el punto de recogida más cercano o el establecimiento donde ha adquirido el producto.

Características

- **Micrófono de direccionalidad bien definida con sensibilidad mínima al ruido ambiental**
La direccionalidad bien definida del micrófono mejora la grabación en un margen estrecho y distancia media cuando se conecta a su cámara (Consulte la ilustración E).
- **Alimentado mediante una combinación de pila alcalina AA y operación de alimentación a través de la clavija**
La alimentación se suministra desde la toma de entrada de micrófono de su cámara o una pila alcalina AA (a partir de ahora "pila").
- **Soporte elástico para micrófono suministrado**
El soporte para micrófono suministrado reduce el ruido de vibración cuando se fija el micrófono a la cámara.

Notas sobre la utilización

- El micrófono es un dispositivo delicado. No lo deje caer ni lo someta a golpes excesivos.
- Durante la grabación de una película, es posible que se graben ruidos de operación o pitidos de la cámara o del objetivo. Puede evitar el ruido procedente del objetivo ajustando en el modo de enfoque manual.
- Evite la utilización o el almacenamiento prolongados en lugares de gran humedad o alta temperatura.
- No permita que el micrófono se humedezca con la lluvia o el agua del mar cuando lo utilice en exteriores.
- El micrófono no posee especificaciones de resistencia al polvo ni a las salpicaduras.
- Elimine cualquier suciedad del micrófono con un paño seco.
- Si se produce retroalimentación acústica (sonido de aullido oído a través de los altavoces) cuando lo utilice, apunte con él alejándolo de los altavoces o aumente la distancia ente el micrófono y los altavoces.
- Tenga cuidado de no dejar caer ni volcar su cámara enganchando el cable conector en un objeto de los alrededores cuando fije el micrófono.
- Pruebe con antelación la grabación con este micrófono para cerciorarse de que grabe adecuadamente.

Nombres y funciones de las partes (Consulte la ilustración A)

* La cámara de la ilustración es la SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Cuerpo del micrófono**

① **Deslice el interruptor (Alimentación OFF/NORM (Normal)/LOW CUT (Corte bajo))**
Ajuste el interruptor de acuerdo con la fuente de sonido.

ON		La alimentación se conecta.
	NORM	Para captar sonido de forma natural desde la gama de bajos tonos a la de altos tonos.
	LOW CUT	Para cortar efectivamente la gama de tonos bajos a fin de reducir el ruido del viento, la vibración o el aire acondicionado.
OFF		La alimentación se desconecta.

② **Lámpara de comprobación de la pila**
Si la pila tiene suficiente energía, cuando deslice el interruptor de OFF a ON, la lámpara de comprobación de la pila parpadeará momentáneamente para indicar el nivel de pila restante.
Notas
Cuando la alimentación se suministre a través de la clavija, la lámpara de comprobación de la pila no parpadeará.
Cuando la lámpara de comprobación de la pila parpadea débilmente o no parpadea en absoluto, reemplace la pila por otra nueva.
Los modelos compatibles con alimentación a través de la clavija pueden alimentarse con la toma de entrada de micrófono.

③ **Cable conector**
Conecte la toma de salida del micrófono a la toma de entrada de micrófono de su cámara.

④ **Empuñadura**

2 **Soporte de micrófono**
Inserte el micrófono para fijar a la cámara.
① **Perilla de bloqueo**
Utilice la perilla de bloqueo para fijar el patín para accesorios.

3 **Separador de micrófono**
Fíjelo al micrófono para fijarlo al soporte de micrófono.

4 **Patín para accesorios**
Utilice el patín para accesorios cuando use un micrófono con una cámara α Sony.
① **Zapata para accesorios**
② **Pata de bloqueo automático**
③ **Botón de liberación del micrófono**

5 **Parabrisas**
Colóquelo en el micrófono para reducir el ruido causado por el viento o el aliento.
Notas
Si el parabrisas se humedece con la lluvia, quítelo del micrófono y deje que se seque a la sombra.

Fijación del micrófono

Fijación del separador de micrófono al micrófono (Consulte la ilustración B)

Fije el separador de micrófono a lo largo de la línea de la empuñadura del micrófono (**a**).
Fije el separador de micrófono en la posición correcta de la empuñadura para captar adecuadamente el sonido.

Inserción/extracción de la pila (Consulte la ilustración C)

Cuando utilice una cámara que no sea compatible con alimentación a través de la clavija, cerciórese de insertar una pila nueva. Cuando utilice una cámara que no sea compatible con alimentación a través de la clavija, cerciórese de insertar una pila nueva.
Para saber si su cámara es compatible con alimentación a través de la clavija, consulte el manual de instrucciones de su cámara.

Notas
- Utilice una pila alcalina de tamaño AA. Si utilizase otra pila (pila de dióxido de magnesio, batería de Ni-MH, etc.), el micrófono podría no funcionar correctamente. Le recomendamos utilizar una pila Sony para sacar el máximo partido posible de las especificaciones del micrófono, el rendimiento y el tiempo de funcionamiento, etc.
- Antes de una grabación importante, reemplace la pila por otra nueva.
- Antes de insertar o extraer la pila, cerciórese de poner en OFF la alimentación del micrófono y de desconectar el cable conector.

1 **Compruebe que el cable conector esté desconectado. Después gire la empuñadura y tire de ella como se muestra en la ilustración.**
La empuñadura no puede separarse completamente del cuerpo del micrófono. No tire de ella a la fuerza.

2 **Inserte la pila.**
Cuando inserte la pila, hágalo con su lado ⊖ en primer lugar, y después inserte el lado ⊕.

Extraiga la pila siguiendo el proceso inverso.
Notas
- Para extraer la pila del micrófono. sujete el lado ⊕ con una uña.

Período de reemplazo de la pila

Si la pila tiene suficiente energía, cuando cambie el interruptor deslizante de OFF a ON, la lámpara de comprobación de la pila parpadeará momentáneamente para indicar el nivel de pila restante. Si la lámpara de comprobación de la pila parpadea débilmente o no parpadea en absoluto, reemplace la pila por otra nueva.

Notas sobre la pila

El mal uso de la pila puede causar fugas o su ruptura. Tenga en cuenta siempre lo siguiente.
- Instale la pila con la orientación correcta de ⊕ y ⊖ .
- No intente recargar la pila. No es recargable.
- Cuando no vaya a utilizar el micrófono durante mucho tiempo, extráigale la pila.
- Si la pila tiene fugas*, limpie cuidadosamente el electrólito del compartimiento de la pila y después instale una nueva pila. (Si la pila tiene fugas, tendrá que reparar el micrófono.)

Fijación del micrófono a la cámara (Consulte la ilustración D)

1 **Apague la cámara.**
Antes de utilizar el micrófono, cerciórese de cerrar el flash incorporado de la cámara. Cuando utilice el micrófono con una cámara que posea flash incorporado con función de flash automático, ajuste dicha función a OFF.

2 **Fije el soporte de micrófono a la zapata de la cámara.**
Si fija el patín para accesorios al soporte de micrófono, podrá fijarlo a una cámara que posea una zapata de accesorios de bloqueo automático. Utilice el patín para accesorios cuando sea necesario dependiendo de la forma del patín de su cámara.
- **Cuando utilice una cámara con zapata de accesorios (Consulte la ilustración D-2Ⓐ)**
Deslice el soporte de micrófono completamente en la zapata de accesorios de la cámara y gire completamente la perilla de bloqueo para fijarla.
- **Cuando utilice una cámara con zapata de accesorios de bloqueo automático (Consulte la ilustración D-2Ⓑ)**
Deslice el patín para accesorios completamente en la zapata de accesorios de bloqueo automático de la cámara. Después deslice el soporte de micrófono completamente en el patín para accesorios y gire la perilla de bloqueo para fijarlo.

3 **Fije el micrófono al soporte de micrófono.**
Suelte la hebilla del soporte de micrófono y fije el micrófono. Fije el separador de micrófono al micrófono en el soporte de micrófono.
Fije el micrófono con su interruptor de alimentación/corte bajo encarado hacia arriba para obtener el patrón de captación correcto.

4 **Decida la posición del micrófono y cierre la hebilla del soporte de micrófono.**

5 **Conecte el cable conector a la toma de entrada de micrófono de la cámara.**

6 **Fije el cable conector extra a la abrazadera para el cable.**
Cuando fije el cable conector en la abrazadera para el cable. coloque el cable alrededor del lado del objetivo.

Utilización del micrófono

Después de encender la cámara, ponga el interruptor deslizable del micrófono en ON y utilícelo en el modo deseado.
Notas
- **No utilice la fuerza para girar la perilla de bloqueo ni para fijar la zapata. Si lo hicieses, podría causar daños.**
- **No sujete la cámara por el micrófono ni por el soporte de micrófono fijado a la cámara.**
- Si cambia el modo durante la grabación, es posible que se grabe ruido.

Fijación del parabrisas

Fije el parabrisas para evitar que se grabe el sonido del viento como ruido.

Extracción del micrófono de la cámara

Extraiga el micrófono de la cámara siguiendo el procedimiento inverso al de fijación.
Si fija el patín para accesorios a la cámara, deslice el patín para accesorios mientras presione el botón de liberación del micrófono.

Especificaciones

Tipo	Micrófono electrostático de electreto
Fuente de alimentación	Combinación de pila alcalina AA y alimentación a través de la clavija
Pila recomendada	Pila alcalina de tamaño AA y (vendida aparte)
Consumo de energía	Aprox. 0,5 mW
Toma de salida	Cable con miniclavija estéreo tipo L con recubrimiento de oro de ø 3,5 con longitud de aprox. 35 cm
Interruptor	Alimentación OFF / NORM (Normal) / LOW CUT (Corte bajo)
Tiempo continuo de funcionamiento	900 horas o más (Utilización a 25 °C)
Dimensiones	Aprox. ø 21 mm × 261 mm (excluyendo el cable)
Peso	Aprox. 85 g (excluyendo la pila)
Direccionalidad	Direccionalidad bien definida
Elementos incluidos	Micrófono de cañón (1), Parabrisas (1), Soporte para micrófono con montura antigolpes (1), Separador de micrófono (1), Patín para accesorios (1), Juego de documentación impresa
Respuesta en frecuencia	40 Hz ~ 20 kHz
Sensibilidad	-48 dB/Pa ±4 dB
Relación señal-ruido	18 dBspl (Promedio)
Nivel máximo de presión acústica de entrada	100 dBspl o más
Gama dinámica	80 dB o más
Temperatura de funcionamiento	0 °C a 40 °C
Temperatura de almacenamiento	-20 °C a +60 °C

El diseño y las especificaciones están sujetos a cambio sin previo aviso.

A

B

C

D

D

E

Nederlands

Deze pistoolmicrofoon (hieronder kortweg aangeduid als "microfoon") is voor gebruik met een Sony videocamera/recorder en digitale fotocamera met microfooningang en automatische inschakelfunctie (verder kortweg "camera" genoemd). Deze microfoon wordt gevoed door een alkaline AA droge batterij.

< Kennisgeving voor klanten in de landen waar EU-richtlijnen van toepassing zijn >

De fabrikant van dit product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. De geautoriseerde vertegenwoordiger voor EMC en productveiligheid is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Duitsland. Voor kwesties met betrekking tot service of garantie kunt u het adres in de afzonderlijke service- en garantiedocumenten gebruiken.

Voor klanten in Europa

Verwijdering van oude elektrische en elektronische apparaten (Toepasbaar in de Europese Unie en andere Europese landen met gescheiden ophaalsystemen)

Het symbool op het product of op de verpakking wijst erop dat dit product niet als huishoudelijk afval mag worden behandeld. Het moet echter naar een plaats worden gebracht waar elektrische en elektronische apparatuur wordt gerecycled. Als u ervoor zorgt dat dit product op de correcte manier wordt verwijderd, voorkomt u voor mens en milieu negatieve gevolgen die zich zouden kunnen voordoen in geval van verkeerde afvalbehandeling. De recycling van materialen draagt bij tot het vrijwaren van natuurlijke bronnen. Voor meer details in verband met het recyclen van dit product, neemt u contact op met de gemeentelijke instanties, het bedrijf of de dienst belast met de verwijdering van huishoudafval of de winkel waar u het product hebt gekocht.

Kenmerken

- **Sterk richtingsgevoelige microfoon met minimale gevoeligheid voor achtergrondgeluiden**
  Deze sterk richtingsgevoelige microfoon verbetert uw geluidsopnamen van een opname met smal bereik en gemiddelde afstand wanneer u de microfoon bevestigt op uw camera (zie afbeelding E).
- **Gevoed door een combinatie van een alkaline AA droge batterij en stekkervoeding**
  De voeding wordt geleverd via de ingangstekker op uw camera voor de microfoon, of een AA alkaline droge batterij (hieronder kortweg aangeduid als "batterij").
- **Uitgerust met schokbestendige microfoonhouder**
  De microfoonhouder vermindert het geluid van trilling wanneer u de microfoon op de camera bevestigt.

Opmerkingen bij gebruik

- De microfoon is een gevoelig apparaat. Laat het niet vallen en zorg dat er niet hard tegen gestoten wordt.
- Tijdens het opnemen van een film kunnen bedieningsgeluiden of piepjes van de camera of de lens worden opgenomen. U kunt ruis van de lens vermijden door de stand handmatig scherpstellen te gebruiken.
- Niet te lang gebruiken of laten liggen op plaatsen met veel vocht of hoge temperaturen.
- Laat de microfoon bij gebruik buitenshuis niet nat worden door regen of opspattend zeewater.
- De microfoon heeft geen technische gegevens met betrekking tot stof- of spatbestendigheid.
- Veeg stof of vuil op de microfoon af met een droge doek.
- Als er tijdens gebruik een hinderlijke loei- of fluittoon gaat rondzingen (door akoestische terugkoppeling), richt u de microfoon dan van de luidsprekers weg of vergroot de afstand tussen de microfoon en de luidsprekers.
- Let op dat het microfoonsnoer niet loshangt en ergens achter blijft haken, opdat uw camera niet kantelt of valt wanneer u de microfoon bevestigt.
- Test het opnemen met deze microfoon om er op voorhand voor te zorgen dat het geluid goed wordt opgenomen.

Namen en functies van onderdelen (zie afbeelding A)

* De hier afgebeelde camera is model SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Microfoonbody**

① **Schuifschakelaar (Stroom OFF/NORM (Normaal)/LOW CUT (Lage tonen weglaten))**
Stel de schakelaar in op de geluidsbron.

ON		De microfoon gaat aan.
	NORM	om geluid op natuurlijke wijze op te pakken vanaf de lage tot de hoge tonen.
	LOW CUT	om de lage tonen effectief uit te filteren om ruis te verminderen dat afkomstig is van wind, trillingen of airconditioning.
OFF		De microfoon gaat uit.

② **Batterij controlelampje**
Als de batterij voldoende vermogen heeft, knippert het batterij controlelampje kortstondig om het resterende batterijniveau aan te geven wanneer de schuifschakelaar is omgezet van OFF naar ON.
Opmerkingen
Wanneer de voeding wordt geleverd via de stekkervoeding gaat het batterij controlelampje niet knipperen.
Wanneer het batterij controlelampje vaag knippert, of helemaal niet knippert, dient u de batterij door een nieuwe te vervangen.
Modellen met dezelfde stekkervoeding kunnen via de ingangstekker van de microfoon van voeding worden voorzien.

③ **Aansluitsnoer**
Sluit de uitgangstekker van de microfoon aan op de ingangaansluiting van uw camera.

④ **Handgreep**

2 **Microfoonhouder**
Steek de microfoon in de houder om op de camera te worden bevestigd.
① **Vergrendelknop**
Gebruik de vergrendelknop om de schoenadapter te vergrendelen.

3 **Microfoon afstandhouder**
Bevestig deze op de microfoon om deze op de microfoonhouder te bevestigen.

4 **Schoenadapter**
Gebruik de schoenadapter wanneer u de microfoon gebruikt met een Sony α camera.
① **Accessoiresschoen**
② **Automatische vergrendelvoet**
③ **Ontgrendelknop**

5 **Windkap**
Plaats op de microfoon om storende bijgeluiden veroorzaakt door wind of ademhaling te verminderen.
Opmerkingen
Als de windkap nat wordt van de regen verwijder hem dan van de microfoon en droog hem in de schaduw.

De microfoon bevestigen

De afstandhouder van de microfoon op de microfoon bevestigen (zie afbeelding B)

Bevestig de afstandhouder van de microfoon langs de lijn op de handgreep van de microfoon (**a**).
Bevestig de afstandhouder van de microfoon op de juiste positie op de handgreep om het geluid goed op te kunnen vangen.

Plaatsen/Verwijderen van de batterij (zie afbeelding C)

Zorg dat u een nieuwe batterij plaatst wanneer u een camera gebruikt die niet geschikt is om via een stekker van voeding te worden voorzien. Wanneer de camera wel geschikt is om via een stekker van voeding te worden voorzien hoeft u geen batterij in de microfoon te plaatsen.
Raadpleeg de gebruiksaanwijzing om vast te stellen of uw camera wel of niet via een stekker van voeding kan worden voorzien.

Opmerkingen
- Gebruik een AA alkaline droge batterij. Als u een ander soort batterij gebruikt (mangaan dioxide batterij, Ni-MH oplaadbare batterij enz.), kan de microfoon niet goed gaan functioneren. We raden u aan een Sony batterij te gebruiken om van de maximale prestaties en gebruiksduur te kunnen profiteren.
- Vervang de batterij door een nieuwe voordat u een belangrijke opname maakt.
- Zorg dat u de schuifschakelaar van de microfoon op OFF zet en het aansluitsnoer loskoppelt voordat u een batterij verwijdert of plaatst.

1 Controleer of het aansluitsnoer is losgekoppeld. Draai vervolgens aan de handgreep en trek daaraan, zoals is afgebeeld.
De handgreep kan niet volledig van de microfoon worden losgemaakt. Trek er niet krachtig aan.

2 Plaats de batterij.
Zorg bij het plaatsen van de batterij dat u de kant met ⊖ eerst plaatst, en daarna de kant met ⊕.

Verwijder de batterij in omgekeerde volgorde.
Opmerkingen
- Haal de ⊕ kant van de batterij met uw nagel los om de batterij uit de microfoon te verwijderen.

Vervangperiode van de batterij

Als de batterij voldoende vermogen heeft, knippert het batterij controlelampje kortstondig om het resterende batterijniveau aan te geven wanneer de schuifschakelaar is omgezet van OFF naar ON. Wanneer het batterij controlelampje vaag knippert, of helemaal niet knippert, dient u de batterij door een nieuwe te vervangen.

Opmerkingen over de batterij

Bij onjuist gebruik van de batterij kan deze gaan lekken of openbarsten. Neem altijd het volgende in acht.
- Installeer de batterij met de ⊕ en de ⊖ in de juiste richting.
- Probeer de batterij niet op te laden. De batterij is niet oplaadbaar.
- Verwijder de batterij als de microfoon langere tijd niet gebruikt zal gaan worden.
- Als de batterij lekt*, veeg eventueel elektrolyt van de batterij en plaats deze opnieuw. (Als de batterij lekt, dient u de microfoon te laten repareren.)

De microfoon op de camera bevestigen (Zie afbeelding D)

1 Zet de camera uit.
Voordat u de microfoon gaat gebruiken, dient u de ingebouwde flitser van de camera te sluiten. Zet de automatische flitsfunctie op OFF wanneer u de microfoon gebruikt op een camera met ingebouwde flitser en automatische flitsfunctie.

2 Bevestig de microfoonhouder op de schoen van de camera.
Als u de schoenadapter op de microfoonhouder bevestigt, kan deze worden bevestigd op een camera met een zelfvergrendelende accessoireschoen. Gebruik de schoenadapter afhankelijk van de vorm van de schoen op uw camera.
- **Wanneer de camera wordt gebruikt met een accessoiresschoen (Zie afbeelding D-2Ⓐ)**
  Schuif de microfoonhouder volledig op de accessoireschoen van de camera en draai de vergrendelknop helemaal vast om de houder vast te zetten.
- **Wanneer de camera wordt gebruik met een zelfvergrendelende accessoireschoen (Zie afbeelding D-2Ⓑ)**
  Schuif de schoenadapter helemaal op de zelfvergrendelende accessoireschoen van de camera. Schuif vervolgens de microfoonhouder helemaal op de schoenadapter en draai de vergrendelknop aan om deze vast te zetten.

3 Bevestig de microfoon op de microfoonhouder.
Ontgrendel de gesp van de microfoonhouder en bevestig de microfoon. Maak de afstandhouder van de microfoon die op de microfoon bevestigd is op de houder van de microfoon vast.
Bevestig de microfoon met zijn schakelaar voor stroom/lage tonen weglaten naar boven gericht om het juiste patroon voor het oppakken te krijgen.

4 Bepaal de positie van de microfoon en vergrendel de gesp van de microfoonhouder.

5 Sluit het aansluitsnoer stevig aan op de microfooningang van uw camera.

6 Zet het extra aansluitsnoer in de snoerklem vast.
Breng het snoer rond de kant van de lens wanneer het aansluitsnoer in de snoerklem wordt vastgezet.

De microfoon gebruiken

Nadat u de camera heeft aangezet, zet u de schuifschakelaar van de camera op ON en gebruikt u deze in de gewenste modus.
Opmerkingen
- **Forceer bij het draaien van de vergrendelknop of het bevestigen van de schoen niets. Hierdoor kunnen beschadigingen ontstaan.**
- **Gebruik de microfoon of de microfoonhouder die op camera bevestigd is niet om de camera vast te houden.**
- Indien u tijdens het opnemen van modus verandert, kan er ruis worden opgenomen.

Bevestigen van de windkap

Bevestig de windkap om te voorkomen dat het geluid van de wind als ruis wordt opgenomen.

De microfoon van de camera verwijderen

Verwijder de microfoon van de camera door de bijgevoegde procedure in omgekeerde volgorde uit te voeren.
Als de schoenadapter op de camera is bevestigd, schuift u de schoenadapter terwijl u op de ontgrendelknop daarop drukt.

Technische gegevens

Type	Elektromagnetische condensatiemicrofoon
Stroomvoorziening	Combinatie van AA alkaline droge batterij en stekkervoeding
Aanbevolen batterij	AA alkaline droge batterij (apart verkocht)
Stroomverbruik	Ongeveer 0,5 mW
Uitgangsaansluiting	ø 3,5 goudgecoate L type stereo miniplug kabellengte ongeveer 35 cm
Schakelaar	Stroom OFF / NORM (Normaal) / LOW CUT (Lage tonen weglaten)
Aaneengesloten werkingsduur	900 uur of meer (Bij gebruik op 25 °C)
Afmetingen	Ongeveer ø 21 mm × 261 mm (exclusief snoer)
Gewicht	Ongeveer 85 g (exclusief batterij)
Richtingsgevoeligheid	Scherpe richtingsgevoeligheid
Bijgeleverde toebehoren	Pistoolmicrofoon (1), Windkap (1), Schokbestendige microfoonhouder (1), Microfoon afstandhouder(1), Schoenadapter (1), Handleiding en documentatie
Frequentierespons	40 Hz ~ 20 kHz
Gevoeligheid	-48 dB/Pa ±4 dB
Signaal tot ruis-verhouding	18 dBspl (gemiddeld)
Maximale ingang geluidsdrukniveau	100 dBspl of meer
Dynamisch bereik	80 dB of meer
Bedrijfstemperatuur	0 °C tot 40 °C
Opslagtemperatuur	-20 °C tot +60 °C

Wijzigingen in ontwerp en technische gegevens voorbehouden, zonder kennisgeving.

Svenska

Denna riktade mikrofon (nedan kallad ”mikrofon”) är avsedd att användas med en Sony videokamera och digital stillbildskamera med mikrofoningång och plug-in-strömkälla (nedan kallad ”kamera”). Denna mikrofon drivs med ett alkaliskt AA-torrbatteri.

< Anmärkning för kunder i de länder som följer EU-direktiv>

Tillverkaren av den här produkten är Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. Auktoriserad representant för EMC och produktsäkerhet är Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Tyskland. För eventuella ärenden gällande service och garanti, se adresserna i de separata servicerespektive garantidokumenten.

För kunder i Europa

Omhändertagande av gamla elektriska och elektroniska produkter (Användbar i den Europeiska Unionen och andra Europeiska länder med separata insamlingssystem)

Symbolen på produkten eller emballaget anger att produkten inte får hanteras som hushållsavfall. Den skall i stället lämnas in på uppsamlingsplats för återvinning av el- och elektronikkomponenter. Genom att säkerställa att produkten hanteras på rätt sätt bidrar du till att förebygga eventuella negativa miljö- och hälsoeffekter som kan uppstå om produkten kasseras som vanligt avfall. Återvinning av material hjälper till att bibehålla naturens resurser. För ytterligare upplysningar om återvinning bör du kontakta lokala myndigheter eller sophämtningstjänst eller affären där du köpte varan.

Egenskaper

- **Riktad mikrofon med minimal känslighet för omgivande störningar**
  När denna riktade mikrofon används tillsammans med kameran, förbättras ljudupptagningen inom ett smalt område och medellångt avstånd (Se illustration E).
- **Drivs med både ett alkaliskt AA-torrbatteri och plug-in-strömkälla**
  Strömförsörjning via mikrofoningången på kameran eller ett alkaliskt AA-torrbatteri (nedan kallat ”batteri”).
- **Shockmount mikrofonhållare medföljer**
  Den medföljande mikrofonhållaren minskar störningar från vibrationer när mikrofonen är monterad på kameran.

Att tänka på vid användning

- Mikrofonen är en mycket känslig apparat. Den får inte tappas eller utsättas för hårda stötar.
- Under filminspelning kan det hända att driftljud eller pip från kameran eller objektivet spelas in. Du kan förhindra störande ljud från objektivet genom att använda manuellt fokusläge.
- Undvik användning under lång tid eller förvaring i hög fuktighet eller hög temperatur.
- Se till att mikrofonen inte blir blöt av regndroppar eller annat vatten när den används utomhus.
- Mikrofonen är inte byggd att vara dammsäker eller stänksäker.
- Torka bort smuts från mikrofonen med en torr torkduk.
- Om det uppstår rundgång under användning (ett tjutande ljud hörs från högtalarna), rikta då mikrofonen bort från högtalarna eller öka avståndet mellan mikrofonen och högtalarna.
- Var försiktig så att kameran inte tappas eller tippar över genom att anslutningskabeln fastnar i något omgivande föremål när mikrofonen sätts på.
- Gör i förväg en provinspelning med mikrofonen för att försäkra dig om att ljudet spelas in korrekt.

Delarnas namn och funktioner (Se illustration A)

* Kameran i illustrationen är SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Mikrofonhus**

① **Skjutomkopplare (Ström OFF/NORM (normal)/LOW CUT (låg-cut))**
Ställ omkopplaren i enlighet med ljudkällan.

ON		Strömmen slås på.
	NORM	För att ta upp ljud naturligt från lågfrekvensområde till högfrekvensområde.
	LOW CUT	För att filtrera bort lågfrekventa ljud effektivt för att minska störningar från vind, vibrationer eller luftkonditionering.
OFF		Strömmen slås av.

② **Batteriets kontrollampa**
Om det finns tillräckligt med kraft i batteriet när skjutomkopplaren växlas från OFF till ON, blinkar batteriets kontrollampa kort för att indikera återstående batterinivå.
Observera
När strömmen kommer från plug-in-strömkällan, blinkar inte batteriets kontrollampa.
När batteriets kontrollampa blinkar svagt eller inte blinkar alls, byt ut batteriet mot ett nytt.
Modeller kompatibla med plug-in-strömkälla kan få ström från mikrofoningången.

③ **Anslutningskabel**
Anslut utgången på mikrofonen till mikrofoningången på kameran.

④ **Grepp**

2 **Mikrofonhållare**
Sätt i mikrofonen och montera på kameran.
① **Låsvred**
Använd låsvredet för att skruva fast skoadaptern.

3 **Mikrofonmellanlägg**
Sätts på mikrofonen vid montering i mikrofonhållaren.

4 **Skoadapter**
Använd skoadaptern när mikrofonen används med en Sony α-kamera.
① **Tillbehörssko**
② **Självlåsande fot**
③ **Låsspärrknapp**

5 **Vindskydd**
Sätts på mikrofonen för att minska smällande ljud som orsakas av vind eller luftstötar.
Observera
Om vindskyddet blir vått i regnet, ta av det från mikrofonen och låt det torka i skuggan.

Sätta på mikrofonen

Montera mikrofonmellanlägget på mikrofonen (Se illustration B)

Montera mikrofonmellanlägget längs linjen på mikrofongreppet (**a**).
Montera mikrofonmellanlägget på rätt ställe på greppet för korrekt ljudupptagning.

Sätta i/ta ur batteriet (Se illustration C)

När en kamera som inte är kompatibel med plug-in-strömkälla används, måste ett nytt batteri isättas. När en kamera som är kompatibel med plug-in-strömkälla används, behöver du inte sätta i ett batteri i mikrofonen.
För information om hur du kan kontrollera huruvida kameran är kompatibel med plug-in-strömkälla, hänvisar vi till kamerans handledning.

Observera
- Använd ett alkaliskt torrbatteri storlek AA. Om du använder ett annat batteri (mangandioxidbatteri, Ni-MH uppladdningsbart batteri etc.), kan det hända att mikrofonen inte fungerar korrekt. Vi rekommenderar användning av ett Sony-batteri för att maximera mikrofonens specifikationer, prestanda och drifttid etc.
- Före en viktig inspelning, byt ut batteriet mot ett nytt.
- Se till att ställa strömmen till mikrofonen på OFF och koppla ur anslutningskabeln före isättning eller urtagning av batteriet.

1 Kontrollera att anslutningskabeln är urkopplad. Rotera sedan greppet och dra det bakåt såsom visas.
Greppet kan inte separeras från mikrofonhuset. Dra inte med våld.

2 Sätt i batteriet.
När batteriet isätts, sätt först i ⊖-sidan, och sätt sedan i ⊕-sidan.

Tillvägagångssättet är det motsatta när batteriet tas ur.
Observera
- Sätt i nageln på batteriets ⊕-sida, för att ta ur batteriet ur mikrofonen.

När det är dags att byta batteriet

Om det finns tillräckligt med kraft i batteriet, kommer en växling av skjutomkopplaren från OFF till ON att få batteriets kontrollampa att blinka kort för att indikera återstående batterinivå. Om batteriets kontrollampa blinkar svagt eller inte blinkar alls, byt ut batteriet mot ett nytt.

Anmärkningar gällande batteriet

Om batteriet hanteras felaktigt kan det orsaka att det börjar läcka eller brister. Iaktta alltid följande.
- Installera batteriet med ⊕ och ⊖ vända åt rätt håll.
- Försök inte att ladda upp batteriet. Det är inte uppladdningsbart.
- Ta ur batteriet om mikrofonen inte ska användas under en längre tid.
- Om batteriet läcker*, torka noggrant bort all elektrolyt från batterifacket och sätt sedan i ett nytt batteri. (Om batteriet läcker, måste mikrofonen repareras.)

Montera mikrofonen på kameran (Se illustration D)

1 Stäng av strömmen till kameran.
Innan mikrofonen används, se till att stänga av kamerans inbyggda blixt.
När mikrofonen används med en kamera med inbyggd blixt med automatisk blixtfunktion, ställ in den automatiska blixtfunktionen på OFF.

2 Montera mikrofonhållaren på kamerans sko.
Om du monterar skoadaptern på mikrofonhållaren, kan den monteras på en kamera som har en självlåsande tillbehörssko. Använd skoadaptern vid behov beroende på formen på kamerans sko.
- **Vid användning av en kamera med tillbehörssko (Se illustration D-2Ⓐ)**
  Skjut in mikrofonhållaren helt på kamerans tillbehörssko och rotera låsvredet till stopp för att fixera den.
- **Vid användning av en kamera med självlåsande tillbehörssko (Se illustration D-2Ⓑ)**
  Skjut in skoadaptern helt på kamerans självlåsande tillbehörssko. Skjut sedan in mikrofonhållaren helt på skoadaptern och rotera låsvredet för att skruva fast den.

3 Sätt mikrofonen i mikrofonhållaren.
Öppna spännet på mikrofonhållaren och montera mikrofonen. Passa in mikrofonmellanlägget som sitter på mikrofonen i mikrofonhållaren.
Montera mikrofonen med ström/låg-cut-omkopplaren vänd uppåt för att erhålla rätt upptagningsmönster.

4 Bestäm mikrofonens position och lås spännet på mikrofonhållaren.

5 Anslut anslutningskabeln till mikrofoningången på kameran.

6 Fäst lös anslutningskabel i kabelklämman.
När anslutningskabeln fästs i kabelklämman, dra kabeln runt objektivsidan.

Använda mikrofonen

Efter att ha slagit på strömmen till kameran, ställ skjutomkopplaren på mikrofonen på ON och använd den i önskat läge.
Observera
- **Använd inte våld när du roterar låsvredet eller monterar skon. Det kan orsaka skador.**
- **Håll inte kameran i mikrofonen eller mikrofonhållaren monterad på kameran.**
- Om du ändrar läget under inspelning, kan du få ett störande ljud i inspelningen.

Sätta på vindskyddet

Sätt på vindskyddet för att förhindra ljud av vind från att spelas in som störningar.

Ta bort mikrofonen på kameran

Ta bort mikrofonen från kameran genom att kasta om tillvägagångssättet för montering.
Om skoadaptern är monterad på kameran, skjut skoadaptern samtidigt som du trycker på låsspärrknappen på den.

Specifikationer

Typ	Elektretkondensatormikrofon
Strömförsörjning	Kombination av alkaliskt AA-torrbatteri och plug-in-strömkälla
Rekommenderat batteri	Alkaliskt torrbatteri storlek AA (säljs separat)
Energiförbrukning	Ca. 0,5 mW
Utgång	ø 3,5 guldpläterad L-formad stereominikontakt kabellängd ca. 35 cm
Omkopplare	Ström OFF / NORM (normal) / LOW CUT (låg-cut)
Kontinuerlig drifttid	900 timmar eller mer (Vid användning i 25 °C)
Storlek	Ca. ø 21 mm × 261 mm (exklusive kabel)
Vikt	Ca. 85 g (exklusive batteri)
Riktverkan	Riktad
Inkluderade artiklar	Riktad mikrofon (1), Vindskydd (1), Shockmount mikrofonhållare (1), Mikrofonmellanlägg (1), Skoadapter (1), Uppsättning tryckt dokumentation
Frekvensåtergivning	40 Hz – 20 kHz
Känslighet	-48 dB/Pa ±4 dB
Signalbrusförhållande	18 dBspl (genomsnitt)
Maximal ingående ljudtrycksnivå	100 dBspl eller mer
Dynamikområde	80 dB eller mer
Arbetstemperatur	0 °C till 40 °C
Förvaringstemperatur	-20 °C till +60 °C

Utförande och specifikationer kan ändras utan föregående meddelande.

Italiano

Questo microfono a fucile (di seguito semplicemente chiamato “microfono”) è destinato all’uso con le videocamere e le fotocamere digitali Sony provviste di presa d’ingresso per microfono e di alimentazione a innesto (di seguito semplicemente chiamate “apparecchio”). Questo microfono è alimentato da una batteria alcalina a secco AA.

< Avviso per i clienti residenti nei paesi che applicano le direttive UE >

Questo prodotto è realizzato da Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Giappone. Il Rappresentante autorizzato per la conformità alle direttive EMC e per la sicurezza dei prodotti è Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germania. Per qualsiasi questione relativa all’assistenza o alla garanzia, consultare gli indirizzi forniti a parte nei relativi documenti.

Per i clienti in Europa

Trattamento del dispositivo elettrico od elettronico a fine vita (applicabile in tutti i paesi dell’Unione Europea e in altri paesi europei con sistema di raccolta differenziata)

Questo simbolo sul prodotto o sulla confezione indica che il prodotto non deve essere considerato come un normale rifiuto domestico, ma deve invece essere consegnato ad un punto di raccolta appropriato per il riciclo di apparecchi elettrici ed elettronici. Assicurandovi che questo prodotto sia smaltito correttamente, voi contribuirete a prevenire potenziali conseguenze negative per l’ambiente e per la salute che potrebbero altrimenti essere causate dal suo smaltimento inadeguato. Il riciclaggio dei materiali aiuta a conservare le risorse naturali. Per informazioni più dettagliate circa il riciclaggio di questo prodotto, potete contattare l’ufficio comunale, il servizio locale di smaltimento rifiuti oppure il negozio dove l’avete acquistato.

Caratteristiche

- **Microfono altamente direttivo poco sensibile al rumore ambientale**
  L’elevata direttività del microfono migliora la registrazione in un campo ristretto e a media distanza (vedere l’illustrazione E).
- **Alimentato a batteria alcalina a secco AA e alimentazione a innesto in combinazione**
  L’alimentazione è fornita dalla presa di ingresso per microfono dell’apparecchio oppure da una batteria alcalina a secco AA (di seguito semplicemente chiamata “batteria”).
- **Portamicrofono antivibrazione in dotazione**
  Il portamicrofono in dotazione riduce il rumore causato dalle vibrazioni quando si installa il microfono sull’apparecchio.

Note sull’uso

- Questo microfono è delicato. Si deve quindi evitare di urtarlo con forza eccessiva.
- Durante la registrazione di film, potrebbero essere registrati anche i rumori o i cicalini provenienti dalla fotocamera o dall’obiettivo. Per evitare il rumore proveniente dall’obiettivo utilizzare la modalità di messa a fuoco manuale.
- Si deve evitare di conservarlo a lungo in alta umidità e/o temperatura.
- Si deve impedire che si bagni sotto la pioggia o con l’acqua di mare.
- Il microfono non presenta caratteristiche tecniche di resistenza alla polvere o agli spruzzi d’acqua.
- Ogni traccia di sporcizia deve essere rimossa solo con un panno asciutto.
- Se durante l’uso si produce un feedback audio (il cosiddetto effetto Larsen, cioè un sibilo udibile attraverso i diffusori), si suggerisce di puntare il microfono lontano da questi ultimi o di allontanarvelo.
- Durante l’installazione del microfono si raccomanda di fare attenzione a non far cadere o capovolgere l’apparecchio impigliando il cavo in un oggetto nelle vicinanze.
- Eseguire prima una prova di registrazione con il microfono per verificare che il suono venga registrato correttamente.

Nome e funzione delle varie parti (vedere l’illustrazione A)

* L’apparecchio illustrato in queste istruzioni è il modello SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Corpo del microfono**

① **Interruttore a scorrimento (Alimentazione OFF/NORM (Normale)/LOW CUT (Taglia-bassi))**
Impostare l’interruttore in base alla sorgente sonora.

ON		Accende l’alimentazione.
	NORM	Per rilevare il suono in maniera naturale dalla gamma dei toni bassi alla gamma dei toni alti.
	LOW CUT	Per tagliare in modo efficace i toni bassi e ridurre il rumore proveniente da vento, vibrazioni o condizionatori d’aria.
OFF		Spegne l’alimentazione.

② **Spia di controllo della batteria**
Se l’autonomia della batteria è sufficiente, quando l’interruttore a scorrimento viene spostato da OFF a ON, la spia di controllo della batteria si accende momentaneamente per indicare il livello di batteria rimanente.
Note
Quando l’alimentazione è fornita dall’alimentazione a innesto, la spia di controllo della batteria non si accende.
Quando la spia di controllo della batteria lampeggia con luce fioca oppure non lampeggia affatto, sostituire la batteria con una nuova.
I modelli compatibili con l’alimentazione a innesto possono essere alimentati tramite la presa di ingresso per microfono.

③ **Cavo di collegamento**
Collegare la presa d’uscita del microfono alla corrispondente presa d’ingresso dell’apparecchio.

④ **Impugnatura**

2 **Portamicrofono**
Inserire il microfono per montarlo sull’apparecchio.
① **Ghiera di bloccaggio**
Utilizzare la ghiera di bloccaggio per bloccare l’adattatore per slitta di contatto.

3 **Distanziatore microfono**
Applicare sul microfono per montarlo sul portamicrofono.

4 **Adattatore per slitta di contatto**
Utilizzare l’adattatore per slitta di contatto quando si utilizza il microfono con un apparecchio Sony α.
① **Slitta portaccessori**
② **Piedino con blocco automatico**
③ **Pulsante di sblocco**

5 **Protezione antivento**
Applicata al microfono riduce i rumori causati dal vento o dal proprio respiro.
Note
Se la protezione antivento si bagna sotto la pioggia, rimuoverla dal microfono e farla asciugare all’ombra.

Installazione del microfono

Installazione del distanziatore microfono sul microfono (vedere l’illustrazione B).

Installare il distanziatore del microfono lungo la linea sull’impugnatura del microfono (**a**).
Applicare il distanziatore del microfono nella posizione corretta sull’impugnatura per catturare correttamente il suono.

Inserimento/Rimozione della batteria (vedere l’illustrazione C)

Quando si utilizza un apparecchio non compatibile con l’alimentazione a innesto, assicurarsi di inserire una batteria. Quando si utilizza un apparecchio compatibile con l’alimentazione a innesto, non è necessario inserire la batteria nel microfono.
Per verificare se l’apparecchio è compatibile con l’alimentazione a innesto, consultare il manuale di istruzioni dell’apparecchio.

Note
- Utilizzare una batteria alcalina a secco AA. Se si utilizza un altro tipo di batteria (batteria al biossido di manganese, batteria ricaricabile Ni-MH, ecc.) il microfono potrebbe non funzionare correttamente. Si raccomanda di utilizzare una batteria Sony per ottimizzare le caratteristiche tecniche del microfono, le prestazioni, il tempo di impiego, ecc.
- Prima di una registrazione importante, sostituire la batteria con una nuova.
- Accertarsi che l’alimentazione del microfono sia su OFF e scollegare il cavo di collegamento prima di installare o rimuovere la batteria.

1 Controllare che il cavo di connessione sia scollegato. Ruotare quindi l’impugnatura e tirarla, come illustrato.
L’impugnatura non si separa completamente dal corpo del microfono. Non tirarla con forza.

2 Inserire la batteria.
Quando si inserisce la batteria, inserire prima il polo ⊖, quindi il polo ⊕.

Per rimuovere la batteria, eseguire la procedura al contrario.
Note
- Per rimuovere la batteria dal microfono, sollevare il polo ⊕ della batteria con l’unghia.

Quando sostituire la batteria

Se l’autonomia della batteria è sufficiente, quando si sposta l’interruttore a scorrimento da OFF a ON, la spia di controllo della batteria si accende momentaneamente per indicare il livello di batteria rimanente. Se la spia di controllo della batteria lampeggia con luce fioca oppure non lampeggia affatto, sostituire la batteria con una nuova.

Note sulla batteria

Un errato utilizzo della batteria può causare perdite o rottura. Rispettare sempre le seguenti indicazioni.
- Installare correttamente la batteria rispettando la polarità ⊕ e ⊖.
- Non tentare di ricaricare la batteria: non è ricaricabile.
- Rimuovere la batteria se si prevede di non utilizzare il microfono per un periodo di tempo prolungato.
- Se la batteria perde*, asciugare accuratamente tutto l’elettrolita dal vano batteria quindi installare una batteria nuova. (Se la batteria perde, è necessario riparare il microfono.)

Montaggio del microfono sull’apparecchio (vedere l’illustrazione D)

1 Spegnere l’apparecchio.
Prima di utilizzare il microfono, accertarsi di aver chiuso il flash incorporato nell’apparecchio. Se si utilizza un apparecchio con un flash incorporato con funzione di flash automatico, impostare il flash automatico su OFF.

2 Montare il portamicrofono sulla slitta dell’apparecchio.
Se si applica l’adattatore per slitta di contatto al portamicrofono, questo può essere applicato a un apparecchio dotato di Slitta portaccessori con blocco automatico. Utilizzare l’adattatore per slitta di contatto secondo necessità, in base alla forma della slitta sull’apparecchio in uso.
- **Quando si utilizza l’apparecchio con una slitta portaccessori (vedere l’illustrazione D-2Ⓐ).**
  Far scivolare il portamicrofono fino in fondo nella slitta portaccessori dell’apparecchio e ruotare completamente la ghiera di bloccaggio per fissarlo.
- **Quando si utilizza l’apparecchio con una Slitta portaccessori con blocco automatico (vedere l’illustrazione D-2Ⓑ).**
  Far scivolare l’adattatore per slitta di contatto sulla Slitta portaccessori con blocco automatico dell’apparecchio. Far scivolare quindi il portamicrofono a fondo nell’adattatore per slitta di contatto e ruotare la ghiera di bloccaggio per fissarlo.

3 Installare il microfono sul portamicrofono.
Aprire la cerniera del portamicrofono e installare il microfono. Montare il distanziatore del microfono applicato al microfono sul portamicrofono.
Applicare il microfono con l’interruttore di alimentazione/taglia-bassi rivolto verso l’alto per ottenere il pattern di rilevamento corretto.

4 Scegliere la posizione del microfono e chiudere la cerniera del portamicrofono.

5 Collegare il cavo di collegamento alla presa d’ingresso per microfono dell’apparecchio.

6 Inserire il cavo di connessione in eccesso nel fermacavo.
Quando si inserisce il cavo di connessione nel fermacavo, far passare il cavo dal lato dell’obiettivo.

Uso del microfono

Dopo aver acceso l’apparecchio, portare l’interruttore a scorrimento del microfono su ON per accenderlo e utilizzarlo.
Note
- **Non esercitare forza per ruotare la ghiera dio bloccaggio o applicare la slitta per evitare di danneggiarli.**
- **Non tenere l’apparecchio reggendolo dal microfono o dal portamicrofono montato sull’apparecchio.**
- Se durante la registrazione si cambia modalità, il suono potrebbe essere registrato.

Applicazione della protezione antivento

Applicare la protezione antivento per evitare che il suono del vento venga registrato come rumore.

Rimozione del microfono dall’apparecchio

Per rimuovere il microfono dall’apparecchio, eseguire la procedura di montaggio al contrario.
Se sull’apparecchio è montato l’adattatore per slitta di contatto, farlo scivolare tenendo premuto il pulsante di sblocco su di esso.

Caratteristiche tecniche

Tipo	Microfono a condensatore elettrete
Alimentazione	Combinazione di batteria alcalina a secco AA e alimentazione a innesto
Batteria raccomandata	Batteria alcalina a secco AA (da acquistare a parte)
Consumo elettrico	circa 0,5 mW
Spina di uscita	spina mini stereo tipo L con rivestimento dorato ø 3,5 lunghezza cavo circa 35 cm
Interruttore	Alimentazione OFF/NORM (Normale)/LOW CUT (Taglia-bassi)
Tempo di impiego continuo	900 ore o più (a 25 °C)
Dimensioni	circa ø 21 mm × 261 mm (escluso il cavo)
Peso	circa 85 g (esclusa la batteria)
Direttività	Stretta
Accessori inclusi	Microfono a fucile (1), protezione antivento (1), portamicrofono antivibrazione (1), distanziatore microfono (1), adattatore per slitta di contatto (1), corredo di documentazione stampata
Risposta in frequenza	Da 40 Hz a 20 kHz
Sensibilità	-48 dB/Pa ±4 dB
Rapporto segnale-rumore	18 dBspl (Media)
Massimo livello di pressione acustica in ingresso	100 dBspl o più
Gamma dinamica	80 db o più
Temperatura d’impiego	Da 0 °C a 40 °C
Temperatura di conservazione	Da -20 °C a +60 °C

Disegno e caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Português

Este microfone do tipo shotgun (referido abaixo como “microfone”) é para ser utilizado com uma câmara de vídeo e máquina fotográfica digital da Sony com tomada de entrada de microfone e funcionamento por cabo de alimentação (referida abaixo como “câmara”). Este microfone é alimentado por uma pilha alcalina seca AA.

< Nota para os clientes nos países que apliquem as Directivas da UE >

O fabricante deste produto é a Sony Corporation, 1-7-1 Konan Minato-ku Tokyo, 108-0075 Japan. O Representante Autorizado para EMC e segurança de produto é a Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327, Stuttgart, Germany. Para questões acerca de serviço e acerca da garantia, consulte as moradas fornecidas em separado, nos documentos de serviço e garantia.

Para os clientes na Europa

Tratamento de Equipamentos Eléctricos e Electrónicos no final da sua vida útil (Aplicável na União Europeia e em países Europeus com sistemas de recolha selectiva de resíduos)

Este símbolo, colocado no produto ou na sua embalagem, indica que este não deve ser tratado como resíduo urbano indiferenciado. Deve sim ser colocado num ponto de recolha destinado a resíduos de equipamentos eléctricos e electrónicos. Assegurando-se que este produto é correctamente depositado, irá prevenir potenciais consequências negativas para o ambiente bem como para a saúde, que de outra forma poderiam ocorrer pelo mau manuseamento destes produtos. A reciclagem dos materiais contribuirá para a conservação dos recursos naturais. Para obter informação mais detalhada sobre a reciclagem deste produto, por favor contacte o município onde reside, os serviços de recolha de resíduos da sua área ou a loja onde adquiriu o produto.

Características

- **Microfone com direccionalidade precisa e o mínimo de sensibilidade ao ruído ambiente**
  A direccionalidade precisa do microfone melhora a gravação de curto alcance e de distância intermédia quando ligado à câmara (ver ilustração E).
- **Alimentado por uma combinação de pilha alcalina seca AA e funcionamento por cabo de alimentação**
  A corrente é fornecida pela tomada de entrada do microfone da câmara ou uma pilha alcalina seca AA (referida abaixo como “pilha”).
- **Suporte de microfone antivibração fornecido**
  O suporte de microfone fornecido reduz o ruído da vibração quando se fixa o microfone à câmara.

Notas de utilização

- O microfone é um dispositivo delicado. Não o deixe cair nem o sujeite a choques excessivos.
- Durante a gravação de filmes, os sons ou sinais sonoros operacionais da câmara ou objectiva podem ficar gravados. Pode evitar o ruído da objectiva utilizando o modo de focagem manual.
- Evite uma utilização prolongada ou o armazenamento em locais com elevada humidade ou altas temperaturas.
- Não deixe o microfone ficar molhado com a chuva ou a água do mar quando o utilizar no exterior.
- O microfone não é à prova de poeira nem de salpicos.
- Limpe qualquer sujidade que esteja no microfone com um pano seco.
- Se ocorrer feedback acústico durante a sua utilização (se ouvir um efeito de uivo nas colunas de som), vire o microfone de costas para as colunas de som ou aumente a distância entre o microfone e as colunas de som.
- Tenha cuidado para não deixar cair nem derrubar a câmara fixando o cabo de ligação do microfone num objecto que esteja próximo quando fixar o microfone.
- Teste a gravação antecipadamente com este microfone para garantir que o som fica bem gravado.

Nomes e funções das peças (ver Ilustração A)

* A câmara ilustrada neste documento é a SLT-A55V/NEX-VG10.

1 **Corpo do microfone**

① **Interruptor de corrente deslizante (posição OFF/NORM (normal)/LOW CUT (corte de graves))**
Coloque o interruptor de acordo com a origem do som.

ON		A corrente liga-se.
	NORM	Para captar som naturalmente, dos graves aos agudos.
	LOW CUT	Para cortar os graves eficazmente, de modo a reduzir o ruído do vento, vibração ou ar condicionado.
OFF		A corrente desliga-se.

② **Luz de verificação da pilha**
Se a pilha tiver carga suficiente, quando o interruptor de corrente deslizante passar da posição OFF para ON, a luz de verificação da pilha pisca momentaneamente para indicar o restante nível de carga na pilha.
Notas
Quando a corrente for fornecida por cabo, a luz de verificação da pilha não pisca.
Quando a luz de verificação da pilha piscar com pouca intensidade ou não piscar, substitua a pilha por uma nova.
Os modelos compatíveis com alimentação por cabo podem ser alimentados através da tomada de entrada do microfone.

③ **Cabo de ligação**
Ligue a tomada de saída do microfone à tomada de entrada do microfone da câmara.

④ **Pega**

2 **Suporte do microfone**
Introduza o microfone para o fixar na câmara.
① **Manípulo de fixação**
Utilize o manípulo de fixação para fixar o adaptador de sapata.

3 **Espaçador do microfone**
Fixe-o no microfone para depois o fixar no suporte do microfone.

4 **Adaptador de sapata**
Utilize o adaptador de sapata quando utilizar o microfone com uma câmara Sony α.
① **Sapata de acessórios**
② **Pé de bloqueio automático**
③ **Botão de fixação/libertação**

5 **Pára-vento**
Coloque-o no microfone para reduzir o ruído causado pelo vento ou pela respiração.
Notas
Se o pára-vento ficar molhado com a chuva, retire-o do microfone e seque-o à sombra.

Fixar o microfone

Fixar o espaçador do microfone no microfone (ver Ilustração B)

Fixe o espaçador do microfone ao longo da linha na pega do microfone (**a**).
Fixe o espaçador do microfone na posição correcta na pega para captar bem o som.

Introduzir/retirar a pilha (ver Ilustração C)

Quando utilizar uma câmara que não seja compatível com alimentação por cabo, introduza uma nova pilha. Quando utilizar uma câmara compatível com alimentação por cabo, não tem de introduzir uma pilha no microfone.
Para verificar se a sua câmara é ou não compatível com alimentação por cabo, consulte o respectivo manual de instruções.

Notas
- Utilize uma pilha alcalina seca AA. Se utilizar outra pilha (pilha de dióxido de manganésio, pilha recarregável de Ni-MH, etc.), o microfone pode não funcionar correctamente. Recomendamos a utilização de uma pilha Sony para maximizar as especificações, desempenho e tempo de funcionamento, etc. do microfone.
- Antes de uma gravação importante, substitua a pilha por uma nova.
- Certifique-se de que coloca a corrente do microfone na posição OFF e desliga o cabo de ligação antes de instalar ou retirar a pilha.

1 Verifique se o cabo de ligação está desligado. Depois, rode a pega e puxe-a, conforme ilustrado.
A pega não se separa completamente do corpo do microfone. Não force.

2 Introduza a pilha.
Quando introduzir a pilha, introduza primeiro o lado ⊖ e depois o lado ⊕.

Retire a pilha pelo procedimento inverso.
Notas
- Para retirar a pilha do microfone, puxe pelo lado ⊕ da pilha com a unha.

Período de substituição da pilha

Se a pilha tiver carga suficiente, quando o interruptor de corrente deslizante passar da posição OFF para ON, a luz de verificação da pilha pisca momentaneamente para indicar o restante nível de carga na pilha. Se a luz de verificação da pilha piscar com pouca intensidade ou não piscar, substitua a pilha por uma nova.

Notas sobre a pilha

O incorrecto manuseamento da pilha pode originar derrame ou ruptura. Observe sempre as seguintes indicações.
- Instale a pilha com a orientação correcta para os pólos ⊕ e ⊖.
- Não tente recarregar a pilha. Ela não é recarregável.
- Retire a pilha se o microfone não for utilizado durante um longo período de tempo.
- Se a pilha derramar líquido*, limpe cuidadosamente qualquer electrólito que esteja no compartimento da pilha e depois instale uma nova pilha. (Se a pilha derramar, tem de reparar o microfone.)

Fixar o microfone na câmara (ver Ilustração D)

1 Desligue a corrente da câmara.
Antes de utilizar o microfone, não se esqueça de fechar o flash incorporado da câmara. Quando utilizar o microfone com uma câmara com flash incorporado que tenha a função de flash automático, defina a função de flash automático como OFF.

2 Fixe o suporte do microfone na sapata da câmara.
Se fixar o adaptador de sapata no suporte do microfone, ele pode ser fixo numa câmara que tenha uma Sapata para Acessórios com Bloqueio Automático. Utilize o adaptador de sapata conforme necessário, dependendo da forma da sapata na câmara.
- **Quando utilizar a câmara com uma sapata de acessórios (ver Ilustração D-2Ⓐ)**
  Deslize o suporte do microfone totalmente sobre a sapata de acessórios da câmara e rode o manípulo de fixação para fixá-lo.
- **Quando utilizar a câmara com uma Sapata para Acessórios com Bloqueio Automático (ver Ilustração D-2Ⓑ)**
  Deslize o adaptador de sapata totalmente sobre a Sapata para Acessórios com Bloqueio Automático da câmara. Depois, deslize o suporte do microfone totalmente sobre o adaptador de sapata e rode o manípulo de fixação para fixá-lo.

3 Fixe o microfone no suporte do microfone.
Liberte o fecho do suporte do microfone e fixe o microfone. Encaixe o espaçador do microfone fixo no microfone no suporte do microfone.
Fixe o microfone, com o respectivo interruptor de corrente/corte de graves virado para cima, de modo a obter o padrão de captação correcto.

4 Decida a posição do microfone e feche o fecho do suporte do microfone.

5 Ligue o cabo de ligação à tomada de entrada do microfone na câmara.

6 Prenda o cabo de ligação que sobra na braçadeira para cabos.
Quando prender o cabo de ligação na respectiva braçadeira, passe o cabo pelo lado da objectiva.

Utilizar o microfone

Depois de ter ligado a corrente da câmara, coloque o interruptor deslizante do microfone na posição ON e utilize-o no modo pretendido.
Notas
- **Não utilize força para rodar o manípulo de fixação ou fixar a sapata. Se o fizer, pode causar danos.**
- **Não pegue na câmara pelo microfone ou suporte do microfone fixo na câmara.**
- Se mudar o modo durante a gravação, o ruído resultante pode ficar gravado.

Instalar o pára-vento

Instale o pára-vento para evitar que o som do vento fique gravado como ruído.

Retirar o microfone da câmara

Retire o microfone da câmara executando o procedimento de instalação inverso.
Se o adaptador de sapata estiver fixo na câmara, deslize o adaptador de sapata ao mesmo tempo que pressiona o botão de fixação/libertação no mesmo.

Características técnicas

Tipo	Microfone com condensador electreto
Fonte de alimentação	Combinação de pilha alcalina seca AA e cabo de alimentação
Pilha recomendada	Pilha alcalina seca AA (vendida à parte)
Consumo de energia	Aprox. 0,5 mW
Tomada de saída	Minificha estéreo tipo L com revestimento dourado de ø 3,5; comprimento do cabo aprox. 35 cm
Interruptor	Posição OFF/NORM (normal)/LOW CUT (corte de graves)
Tempo de funcionamento contínuo	900 horas ou mais (utilizado a 25 °C)
Dimensões	Aprox. ø 21 mm × 261 mm (excluindo o cabo)
Peso	Aprox. 85 g (excluindo a pilha)
Direccionalidade	Direccionalidade exacta
Itens incluídos	Microfone do tipo shotgun (1), Pára-vento (1), Suporte de microfone antivibração (1), Espaçador do microfone (1), Adaptador de sapata (1), Documentos impressos
Resposta em frequência	40 Hz ~ 20 kHz
Sensibilidade	-48 dB/Pa ±4 dB
Relação sinal/ruído	18 dBspl (média)
Máximo nível da pressão sonora de entrada	100 dBspl ou mais
Intervalo dinâmico	80 dB ou mais
Temperatura de funcionamento	0 °C a 40 °C
Temperatura de armazenamento	-20 °C a +60 °C

O design e as especificações estão sujeitos a alterações sem aviso prévio.

中文（简）

本枪型麦克风(以下简称“麦克风”)用于带有麦克风输入插孔并使用插入电源的 Sony 摄像机及数码相机(以下简称“摄像机”)。本麦克风由 AA 碱性干电池供电。

特性

- **具有尖锐指向性，对环境噪音敏感度最低**
  当与摄像机连接时(参见图 E)，此麦克风的尖锐指向性特征可增强窄幅及中距离拍摄的效果。
- **由 AA 碱性干电池与插入电源的组合供电**
  电源将由摄像机的麦克风输入插孔或 AA 碱性干电池(以下简称“电池”)提供。
- **附带防震麦克风架**
  附带的麦克风架可以减弱因摄像机上安装麦克风而引起的震动噪音。

使用须知

- 麦克风为易损设备。请勿使其摔落或受到过大震动。
- 在电影拍摄期间，可能会记录下相机或镜头的操作噪音或蜂鸣声。为了防止镜头发出噪音，可以使用手动聚焦模式。
- 避免长时间使用或存放于高温、高湿的场所中。
- 在外面使用时，切勿让麦克风被雨或海水淋湿。
- 本麦克风并未采用防尘或防溅水设计。
- 请用干布拭去麦克风上的污垢。
- 如果在使用过程中出现回声(从扬声器中听到呼啸声)，请将麦克风从扬声器边挪开，或者增加麦克风与扬声器之间的距离。
- 安装麦克风时要小心，可将连接线勾在旁边的物体上，以免摄像机翻倒或摔到地上。
- 预先请用麦克风进行试录，以确保录音正常。

部件名称与功能（参见图 A）

* 此处所示的摄像机为 SLT-A55V/NEX-VG10。

1 **麦克风主体部分**

① **滑动开关(电源 OFF/NORM(正常) / LOW CUT(低阻))**
请根据声源设置开关。

ON		电源打开。
	NORM	从低音音域到高音音域自然地拾取声音。
	LOW CUT	有效截断低音音域，从而减弱风声、震动或空调等产生的噪音。
OFF		电源关闭。

② **电池检查指示灯**
如果电池电量充足，当滑动开关从 OFF 切换到 ON 时，电池检查指示灯会瞬间闪烁，以指示剩余电池电量。
注意
当由插入电源供电时，电池检查指示灯不会闪烁。
当电池检查指示灯闪烁较为黯淡或完全不闪烁时，请更换新的电池。
兼容插入电源的机型可通过麦克风输入插孔供电。

③ **连接线**
将麦克风的输出插孔连接到摄像机的麦克风输入插孔。

④ **手柄**

2 **麦克风架**
插入要安装在摄像机上的麦克风。
① **锁扣旋钮**
锁扣旋钮用于固定热靴转换器。

3 **麦克风隔离垫片**
装在麦克风上，用于将麦克风安装到麦克风架上。

4 **热靴转换器**
在 Sony α 摄像机上使用麦克风时，需要使用热靴转换器。
① **配件热靴**
② **自锁底座**
③ **锁扣释放按钮**

5 **挡风罩**
罩在麦克风上，减少风或呼吸产生的砰砰噪音。
注意
如果挡风罩被雨水打湿，请将其从麦克风上取下并在阴凉处晾干。

安装麦克风

将麦克风隔离垫片安装到麦克风上（参见图 B）

沿着麦克风手柄上的标线安装麦克风隔离垫片（a）。
确保在手柄的正确位置上安装麦克风隔离垫片，以便能够准确捕捉声音。

插入 / 取出电池（参见图 C）

使用不兼容插入电源的摄像机时，请务必插入新的电池。 使用兼容插入电源的摄像机时，无需在麦克风中插入电池。
有关如何检查摄像机是否兼容插入电源的信息，请参阅摄像机的使用说明书。

注意
- 请使用 AA 碱性干电池。如果使用其他电池(二氧化锰电池、Ni-MH 充电电池等)，麦克风可能无法正常工作。 建议您使用 Sony 电池，以便最大程度发挥麦克风性能，同时使其技术规格与操作时间等达到最佳状态。
- 在开始重要的拍摄之前，请更换新的电池。
- 安装或取出电池前，请务必将麦克风的电源设为 OFF 并断开连接线。

1 检查连接线是否断开。然后，按图中所示旋转手柄并将其拉出。
手柄无法与麦克风主体部分完全分开。 切勿强行拉拽手柄。

2 插入电池。
插入电池时，请先插入 ⊖ 端，然后再插入 ⊕ 端。

取出电池时请按相反顺序操作。
注意
- 要取出麦克风中的电池，可用指甲撬动电池的 ⊕ 端。

电池更换周期

如果电池电量充足，将滑动开关从 OFF 切换到 ON 时可使电池检查指示灯瞬间闪烁，以指示剩余电池电量。如果电池检查指示灯闪烁较为黯淡或完全不闪烁，请更换新的电池。

电池使用须知

处理电池不当可导致其漏液或破裂。 请务必遵守以下规定。
- 安装电池时应确保 ⊕ 和 ⊖ 方向正确无误。
- 切勿试图为电池充电。该电池为非充电电池。
- 长时间不使用麦克风时，请将电池取出。
- 如果电池发生漏液*，请小心地将电池舱中的电解液擦拭干净，然后安装新的电池(如果电池发生漏液，需要维修麦克风)。

将麦克风安装至摄像机（参见图 D）

1 关闭摄像机电源。
使用麦克风之前，请务必关闭摄像机的内置闪光灯。如果所用摄像机的内置闪光灯具有自动闪光功能，使用麦克风时请将自动闪光功能设为 OFF。

2 将麦克风架安装到摄像机的热靴上。
如果在麦克风架上安装了热靴转换器，可将其安装到带有自锁附件插座的摄像机上。取决于摄像机上热靴的形状，必要时可使用热靴转换器。
- **使用带有配件热靴的摄像机时（参见图 D-2Ⓐ）**
  将麦克风架完全滑入摄像机的配件热靴中并将锁扣旋钮转到底，从而将其固定好。
- **使用带有自锁附件插座的摄像机时（参见图 D-2Ⓑ）**
  将热靴转换器完全滑入摄像机的自锁附件插座中。然后，将麦克风架完全滑入热靴转换器中并旋转锁扣旋钮将其固定。

3 将麦克风安装到麦克风架上。
松开麦克风架的扣环并安装麦克风。将安装在麦克风上的隔离垫片固定到麦克风支架上。
安装麦克风时，使其电源/低阻开关朝上，以获得正确的拾音模式。

4 确定麦克风的位置并锁定麦克风架的扣环。

5 将连接线连至摄像机的麦克风输入插孔。

6 请将多余的连接线固定到线夹中。
将连接线固定到线夹后，使其绕过镜头一端。

使用麦克风

打开摄像机的电源后，请将麦克风的滑动开关设为 ON 并按所需的模式使用麦克风。
注意
- **请勿强行转动锁扣旋钮或安装热靴。否则可造成设备损坏。**
- **请勿只抓握摄像机上安装的麦克风或麦克风架。**
- 如果在拍摄过程中切换工作模式，就会录下杂音。

安装挡风罩

安装挡风罩可以防止录下风声所产生的噪音。

从摄像机上取下麦克风

按照与安装时的相反顺序操作，即可将麦克风从摄像机上取下。
如果摄像机上安装了热靴转换器，请在按下锁扣释放按钮的同时滑动热靴转换器。

规格

类型	电容麦克风
电源	AA 碱性干电池与插入电源的组合
推荐的电池	AA 碱性干电池（另售）
功耗	约 0.5 mW
输出插孔	L 型 ø 3.5 立体声微型镀金插头，电缆长度约 35 cm
开关	电源 OFF / NORM（正常） / LOW CUT（低阻）
连续操作时间	900 小时或以上（在 25 ℃ 下使用）
尺寸	约 ø 21 mm × 261 mm（不包括连接线）
质量	约 85 g（不包括电池）
指向性	尖锐指向性
所含物品	枪型麦克风 (1)、挡风罩 (1)、麦克风防震座 (1)、麦克风隔离垫片 (1)、热靴转换器 (1)、成套印刷文件
频率响应	40 Hz ~ 20 kHz
灵敏度	-48 dB / Pa ±4 dB
信噪比	18 dBspl（平均值）
最大输入声压级	不低于 100 dBspl
动态范围	不低于 80 dB
操作温度	0 ℃ - 40 ℃
存放温度	-20 ℃ - +60 ℃

设计或规格如有变动，恕不另行通知。

索尼公司
出版日期: 2010 年 8 月

产品中有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
内置线路板	×	○	○	○	○	○
外壳	×	○	○	○	○	○
附件	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T11363-2006 标准规定的限量要求。